

2026
7月

Okinawa Convention & Visitors Bureau
OCVB News



■ OCVBホームページ
<https://www.ocvb.or.jp/>

【観光客の皆様向け情報】
■ 沖縄観光情報WEBサイト おきなわ物語
<https://www.okinawastory.jp/>





一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

会長 浜田 京介

平素より沖縄観光振興に格別なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、沖縄観光は、国内市場の堅調な推移に加え、国際航空路線やクルーズ船の再開・新規就航等を背景に、好調に推移しております。令和7年度の入域観光客数は1,093万5,300人となり、過去最多を記録しました。また、国内観光客数も過去最高となるなど、沖縄観光への関心と期待の高まりがうかがえます。

こうした観光需要の高まりを地域の活力につなげていくためには、来訪者の満足度向上に加え、安全・安心に滞在していただける受入環境づくりが重要です。特に、これから本格的なマリンレジャーシーズンを迎えるにあたり、水難事故の未然防止は大変重要な課題です。

OCVBでは、沖縄県、沖縄県警察本部、第十一管区海上保安本部、沖縄マリンレジャーセーフティービューローと締結した包括連携協定に基づき、関係機関と連携しながら、観光客への情報発信の強化や観光事業者への安全啓発に取り組んでおります。沖縄の美しい海を安全に楽しんでもらえるよう、今後も啓発活動や情報発信を進めてまいります。

また、8月1日は、沖縄県観光振興条例に基づき定められた「観光の日」であり、8月は「観光月間」と位置づけられています。観光月間は、観光産業に対する理解と関心を深めるとともに、観光客を温かく迎え入れるおもてなしの心を県民の皆さまと共有する機会でもあります。今年度も、安全・安心な沖縄観光の推進や、地域の魅力発信につながる取組を進めてまいります。

沖縄観光を今後も持続的に発展させていくためには、県民生活との調和を図りながら、来訪者を安心してお迎えできる環境づくりを進めることが重要です。OCVBでは、引き続き関係機関や観光関連業界の皆さまと連携し、沖縄観光のさらなる発展に向けて取り組んでまいります。

今後とも、皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026年7月

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（26年4月～5月実績、6月～8月見通し）

	6月	7月	8月
※航空会社ヒアリングならびに沖縄県内発着便の提供座席数より推測			
国内空路			
海外空路			
※クルーズ客船の寄港予定より推測			
国内海路			
海外海路			

〈OCVB観光天気予報〉	
	対前年 105%以上水準
	対前年 100%以上-105%未満
	対前年 95%以上-100%未満
	対前年 90%以上-95%未満
	対前年 90%未満水準

		4月(実績)	5月(実績)	6月(予測)	7月(予測)	8月(予測)	4-6月計
2026年度	国内	639,200	607,800	581,000	737,000	797,000	1,828,000
	海外	192,900	190,300	178,000	195,000	208,000	561,200
	合計	832,100	798,100	759,000	932,000	1,005,000	2,389,200
	国内	6,100	4,800	6,600	6,200	3,400	17,500
	海外	67,300	29,600	35,800	76,100	86,600	132,700
	合計	73,400	34,400	42,400	82,300	90,000	150,200
前年度比	空路海路合計	905,500	832,500	801,400	1,014,300	1,095,000	2,539,400
	国内合計	645,300	612,600	587,600	743,200	800,400	1,845,500
	海外合計	260,200	219,900	213,800	271,100	294,600	693,900
	国内	103.4%	103.3%	97.5%	105.0%	102.1%	101.4%
	海外	114.6%	114.2%	104.8%	109.8%	103.0%	111.2%
	合計	105.8%	105.7%	99.1%	106.0%	102.3%	103.6%
前年度比	国内	203.3%	37.8%	169.2%	269.6%	109.7%	89.3%
	海外	72.1%	39.5%	51.6%	115.7%	96.9%	55.8%
	合計	76.1%	39.3%	57.8%	120.9%	97.3%	58.4%
	空路海路合計	102.6%	98.8%	95.5%	107.0%	101.9%	99.0%
	国内合計	104%	102%	98%	106%	102%	101%
	海外合計	99%	91%	89%	111%	101%	93%

■概況

国内入域：

- ・空路は、各社の提供座席数に増減がある中、沖縄方面の需要は堅調に推移したものの、6号は台風の影響により前年を下回る見込みである。
- ・7月・8月は、伊丹・関西・中部・成田発着の那覇路線で一部増便が見込まれるほか、7月には「海洋博美ら海花火大会」等のイベントも予定されている。さらに、夏休み需要の本格化に加え、羽田と県内離島を結ぶ路線も好調に推移していることから、全体として前年を上回る需要で推移する見込みである。

海外入域：

- ・空路は、6月については、台風による一部欠航の影響があるものの、台湾・韓国方面を中心に旺盛な需要が見込まれることから、全体では前年度を上回る見通しである。
- 7月・8月は、夏季の旅行需要が本格化することに加え、那覇空港発着路線や県内離島空港発着の国際線についても堅調な需要が見込まれることから、いずれも前年度を上回る見通しである。また、7月末から8月上旬にかけて予定されている「第3回沖縄空手世界大会」も、海外からの来訪が見込まれるイベントであり、需要を堅調に見込む要因の一つである。
- ・海路は、6月は基隆発・香港発の寄港が前年より少ないことなどから前年を下回る見込みである。
- 一方、7月・8月は基隆発を中心に、高雄・香港・上海発などの寄港も見込まれることから、前年を上回る見込みである。

過年度実績については、沖縄県の入域観光客概況をご確認ください。

①入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（26年4月～5月実績、6月～8月見通し）

6月

空
路

- (国内) 58.1万人 (25年6月対比 97.5%) と見込む。
- (海外) 17.8万人 (25年6月対比 104.8%) となる見通し。
 クアラルンプール-台北-那覇路線
 パテックエアマレーシア：6月1日～ 週2便から運休

海
路

- (国内) 6,600人 (25年6月対比 169.2%) となる見通し。
- (海外) 3.6万人 (25年6月対比 51.6%) となる見通し。
 クルーズ船寄港本数：14本 (25年6月：17本)
 国内クルーズ：3本 (横浜・金沢・大阪発)
 海外クルーズ：11本 (台湾/基隆、高雄・韓国/仁川) 石垣港・平良港のみ寄港は4本。

7月

空
路

- (国内) 73.7万人 (25年7月対比 105.0%) と見込む。
- (海外) 19.5万人 (25年7月対比 109.8%) となる見通し。
 香港=那覇路線
 (新)グレートベイ航空：7月11日～ 新規就航 (デイリー)
 台中=那覇路線
 チャイナエアライン：7月21日～10月24日 運航再開 (デイリー)

海
路

- (国内) 6,200人 (25年7月対比 269.6%) となる見通し。
- (海外) 7.6万人 (25年7月対比 115.7%) となる見通し。
 クルーズ船寄港本数：22本 (25年7月：17本)
 国内クルーズ：0本
 海外クルーズ：16本 (台湾/基隆、高雄・香港・中国/上海) 石垣港のみ寄港は3本。

8月

空
路

- (国内) 79.7万人 (25年8月対比 102.1%) と見込む。
- (海外) 20.8万人 (25年8月対比 103.0%) となる見通し。
 ドムアン-台北-那覇路線
 (新)タイ・ライオン・エア：8月16日～ 新規就航 (週4便予定)

海
路

- (国内) 3,400人 (25年8月対比 109.7%) となる見通し。
- (海外) 8.7万人 (25年8月対比 96.9%) となる見通し。
 クルーズ船寄港本数：26本 (25年8月：24本)
 国内クルーズ：0本
 海外クルーズ：26本 (台湾/基隆・香港・中国/上海) 石垣港・平良港のみ寄港は5本。

(空路) 国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、
 観光客の混在率をかけたもの
 海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定
 (海路) 国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの
 海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの
 ※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

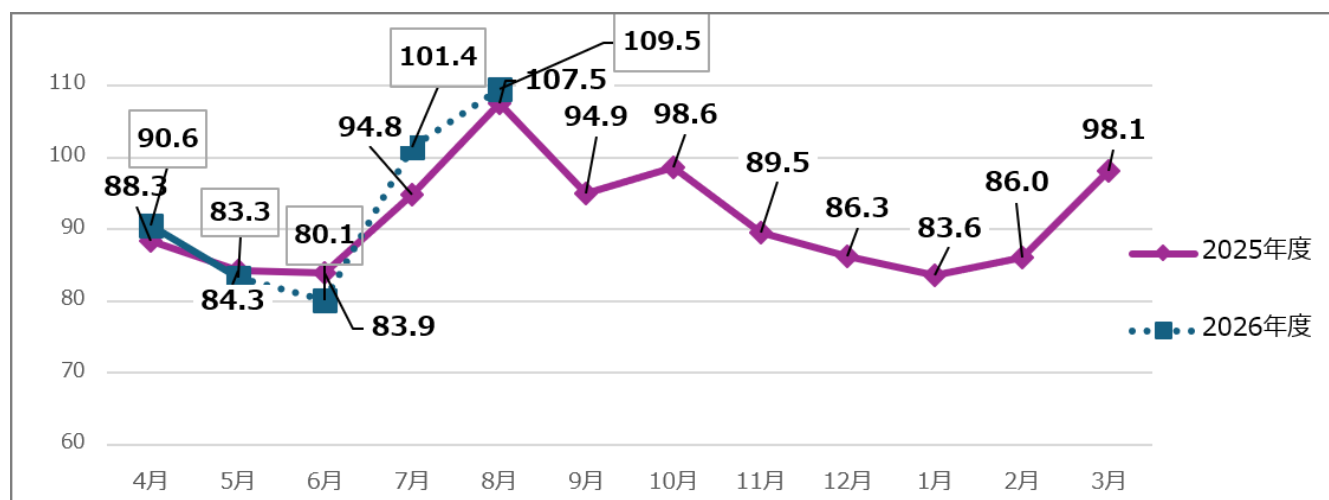
①入域観光客数概況について

2026年6月30日（火）
OCVB

2. 入域観光客数概況グラフ

入域観光客（合計）

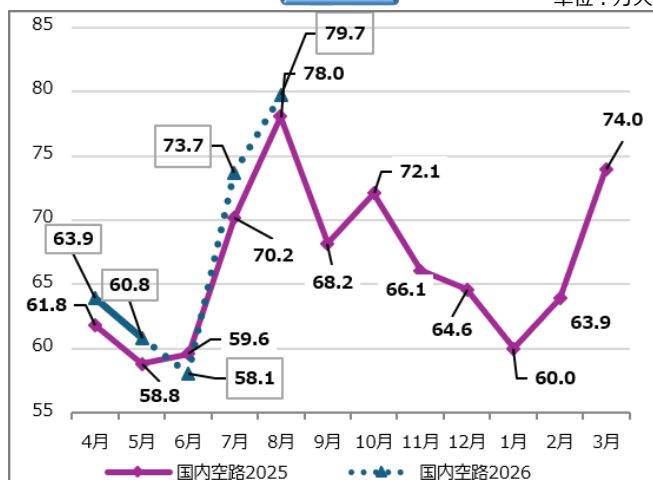
単位：万人



入域観光客（空路）

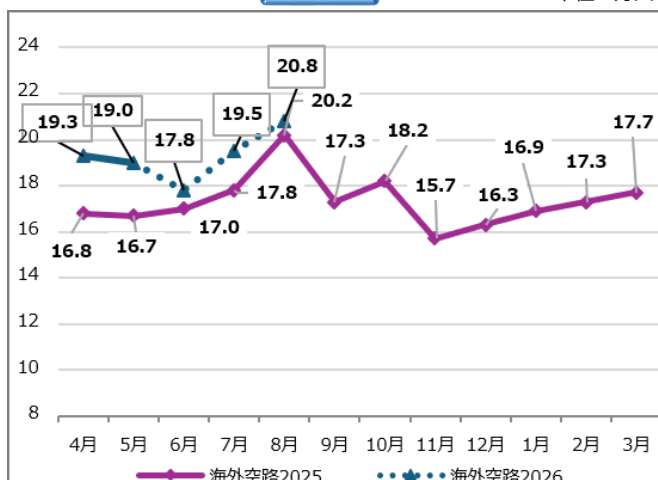
国内

単位：万人



海外

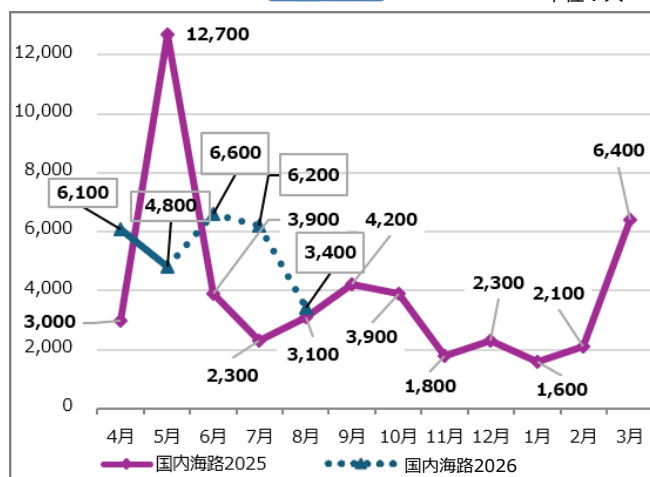
単位：万人



入域観光客（海路）

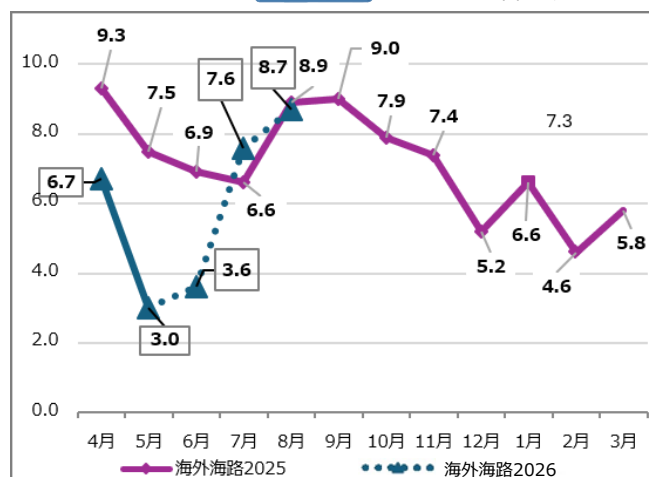
国内

単位：人



海外

単位：万人



1. 沖縄入域観光客数

合計	総計				空路/ 海路別	総計／空路				空路/ 海路別	総計／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
4月	905,500	102.6%	22,900	882,600	4月	832,100	105.8%	45,900	786,200	4月	73,400	76.1%	-23,000	96,400
5月	832,500	98.8%	-10,100	842,600	5月	798,100	105.7%	43,100	755,000	5月	34,400	39.3%	-53,200	87,600
6月	0	0.0%	-838,900	838,900	6月	0	0.0%	-765,600	765,600	6月	0	0.0%	-73,300	73,300
4-6月計	1,738,000	67.8%	-826,100	2,564,100	4-6月計	1,630,200	70.7%	-676,600	2,306,800	4-6月計	107,800	41.9%	-149,500	257,300
年度計	1,738,000	15.9%	-9,197,300	10,935,300	年度計	1,630,200	16.3%	-8,399,600	10,029,800	年度計	107,800	11.9%	-797,700	905,500

国内	国内客／合計				空路/ 海路別	国内客／空路				空路/ 海路別	国内客／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
4月	645,300	103.9%	24,400	620,900	4月	639,200	103.4%	21,300	617,900	4月	6,100	203.3%	3,100	3,000
5月	612,600	101.9%	11,600	601,000	5月	607,800	103.3%	19,500	588,300	5月	4,800	37.8%	-7,900	12,700
6月	0	0.0%	-599,700	599,700	6月	0	0.0%	-595,800	595,800	6月	0	0.0%	-3,900	3,900
4-6月計	1,257,900	69.1%	-563,700	1,821,600	4-6月計	1,247,000	69.2%	-555,000	1,802,000	4-6月計	10,900	55.6%	-8,700	19,600
年度計	1,257,900	15.7%	-6,736,500	7,994,400	年度計	1,247,000	15.7%	-6,703,700	7,950,700	年度計	10,900	24.9%	-32,800	43,700

海外	外国客／合計				空路/ 海路別	外国客／空路				空路/ 海路別	外国客／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
4月	260,200	99%	-1,500	261,700	4月	192,900	115%	24,600	168,300	4月	67,300	72%	-26,100	93,400
5月	219,900	91%	-21,700	241,600	5月	190,300	114%	23,600	166,700	5月	29,600	40%	-45,300	74,900
6月	0	0%	-239,200	239,200	6月	0	0%	-169,800	169,800	6月	0	0%	-69,400	69,400
4-6月計	480,100	65%	-262,400	742,500	4-6月計	383,200	76%	-121,600	504,800	4-6月計	96,900	41%	-140,800	237,700
年度計	480,100	16%	-2,460,800	2,940,900	年度計	383,200	18%	-1,695,900	2,079,100	年度計	96,900	11%	-764,900	861,800

2. 沖縄離島入域観光客数／八重山、宮古、久米島、座間味村、渡嘉敷村

参考数値

※数値引用元は各地域名横に記載

※各数値は、引用元が定めた統計手法により算出されているため、参考値としてご覧ください。また、各離島の数値と沖縄県総計とは一部重複している部分もあります。

※数値公表のタイミングはそれぞれ異なります。空欄部分は、現在未発表です。

〈沖縄離島の入域観光客数〉

沖縄県入域観光客数 総計 沖縄県観光政策課				
2026	前年比	前年増減	2025	
4月	905,500	102.6%	+22,900	882,600
5月	832,500	98.8%	△10,100	842,600
6月	0	0.0%	△838,900	838,900
4-6月計	1,738,000	67.8%	△826,100	2,564,100
年度計	1,738,000	15.9%	△9,197,700	10,935,700

●八重山 沖縄県八重山事務所				
2026	前年比	前年増減	2025	
4月	127,318	96.3%	△4,931	132,249
5月	0	0.0%	△119,354	119,354
6月	0	0.0%	△122,570	122,570
4-6月計	127,318	34.0%	△246,855	374,173
年度計	127,318	8.2%	△1,420,573	1,547,891

●宮古 宮古市観光商工部観光商工課				
2026	前年比	前年増減	2025	
4月	99,801	103.6%	+3,438	96,363
5月	89,116	92.7%	△7,032	96,148
6月	0	0.0%	△106,101	106,101
4-6月計	188,917	63.3%	△109,695	298,612
年度計	188,917	15.0%	△1,074,480	1,263,397

●久米島 久米島町観光協会				
2026	前年比	前年増減	2025	
4月	6,725	107.3%	+459	6,266
5月	6,930	109.7%	+611	6,319
6月	0	0.0%	△6,989	6,989
4-6月計	13,655	69.8%	△5,919	19,574
年度計	13,655	14.0%	△83,635	97,290

●座間味村 座間味村役場産業振興課				
2026	前年比	前年増減	2025	
4月	9,794	104.3%	+401	9,393
5月	12,705	102.5%	+306	12,399
6月	0	0.0%	△12,558	12,558
4-6月計	22,499	65.5%	△11,851	34,350
年度計	22,499	18.4%	△99,587	122,086

●渡嘉敷村 渡嘉敷村商工観光課				
2026	前年比	前年増減	2025	
4月	12,829	103.1%	+388	12,441
5月	12,645	89.1%	△1,539	14,184
6月	0	0.0%	△17,620	17,620
4-6月計	25,474	57.6%	△18,771	44,245
年度計	25,474	17.5%	△119,783	145,257

3. 入域数／航路別入域実績（2026年度）

※「海外その他」には乗務員等を一括計上

国内 海外		4月		5月		6月		4-6月計		上期計			
		入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	入域数 シェア	対前年 増減数	対前年 増減数
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	ランキング
国内 ／ 航路別	札幌	3,900	△ 100	3,800	△ 200	0	0	7,700	△300	7,700	0.6%	△300	21
	仙台	4,300	300	4,100	0	0	0	8,400	+300	8,400	0.7%	+300	8
	福島	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	15
	新潟	300	△ 2,100	300	△ 2,000	0	0	600	△4,100	600	0.0%	△4,100	26
	富山	0	△ 100	0	0	0	0	0	△100	0	0.0%	△100	20
	小松	3,400	200	3,000	△ 100	0	0	6,400	+100	6,400	0.5%	+100	12
	東京	318,500	18,800	291,100	10,000	0	0	609,600	+28,800	609,600	48.5%	+28,800	1
	茨城	3,300	500	3,000	300	0	0	6,300	+800	6,300	0.5%	+800	5
	静岡	3,200	600	2,600	200	0	0	5,800	+800	5,800	0.5%	+800	5
	名古屋	56,300	2,200	53,500	4,300	0	0	109,800	+6,500	109,800	8.7%	+6,500	3
	伊丹	52,200	11,800	55,000	12,600	0	0	107,200	+24,400	107,200	8.5%	+24,400	2
	関西	55,100	△ 10,100	57,000	△ 12,100	0	0	112,100	△22,200	112,100	8.9%	△22,200	27
	神戸	25,600	△ 600	24,700	△ 1,100	0	0	50,300	△1,700	50,300	4.0%	△1,700	24
	岡山	3,800	△ 400	4,500	△ 200	0	0	8,300	△600	8,300	0.7%	△600	23
	広島	4,600	100	4,400	200	0	0	9,000	+300	9,000	0.7%	+300	8
	岩国	3,800	300	3,000	0	0	0	6,800	+300	6,800	0.5%	+300	8
	高松	5,700	700	4,800	100	0	0	10,500	+800	10,500	0.8%	+800	5
	松山	3,500	300	3,100	0	0	0	6,600	+300	6,600	0.5%	+300	8
	高知	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	15
	福岡	79,600	2,400	75,200	1,700	0	0	154,800	+4,100	154,800	12.3%	+4,100	4
	北九州	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	15
	長崎	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	15
	熊本	3,600	0	3,300	100	0	0	6,900	+100	6,900	0.5%	+100	12
	大分	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	15
	宮崎	3,200	300	2,600	△ 200	0	0	5,800	+100	5,800	0.5%	+100	12
	鹿児島	11,200	500	11,300	△ 800	0	0	22,500	△300	22,500	1.8%	△300	21
	その他	200	△ 1,200	2,300	△ 1,200	0	0	2,500	△2,400	2,500	0.2%	△2,400	25
外国 ／ 国籍別	台湾	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
	韓国	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
	中国本土	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
	香港	0	外国人国籍内訳は、 3か月後に公表されます。				0	+0	0	0	0.0%	+0	-
	アメリカ	0					0	+0	0	0	0.0%	+0	-
	カナダ	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
	イギリス	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
	フランス	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
	タイ	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
	シンガポール	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
	マレーシア	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
	インドネシア	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
	オーストラリア	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
	その他※	0	+0	0	+0	0	+0	0	+0	0	0.0%	+0	-
総 計		645,300	+24,400	612,600	+11,600	0	+0	1,257,900	+36,000	1,257,900	200%	+36,000	-

※その他には乗務員を含む

4. 入域数／エリア構成比（25年度累計／同期比）

国内入域エリア別
※2026年度5月までの累計

	構成比	
	比率	前年差
東日本	51.5%	△0.6%
中部	8.7%	△0.0%
関西・中四国	24.7%	+1.0%
九州	15.1%	△0.3%

海外入域エリア別
※～2025年度3月

	構成比	
	比率	前年差
台湾	41.9%	+0.1%
韓国	20.6%	△1.7%
中国本土	12.4%	+6.1%
香港	7.7%	△4.1%
海外その他	17.4%	△0.4%

3. 入域数／航路別入域実績（2025年度/参考）

※「海外その他」には乗務員等を一括計上

国内 海外	上期計				1月		2月		3月		年度計				
	入域数	入域数 シェア	対前年 増減数	対前年 増減数	入域数	対前年増減数	入域数	対前年増減数	入域数	対前年増減数	入域数	入域数シェア	対前年増減数	対前年増減数	
	(人)	(%)	(人)	ランキング	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	ランキング	
国内 ／ 航 路 別	札幌	24,800	0.4%	+200	16	4,100	0	3,800	△ 100	4,400	0	49,400	0.5%	+100	17
	仙台	25,700	0.5%	△900	25	4,600	△ 700	4,300	△ 1,200	5,000	△ 1,400	56,100	0.5%	△4,200	26
	福島	0	0.0%	+0	18	200	100	0	0	0	0	800	0.0%	+300	15
	新潟	4,700	0.1%	+800	15	600	△ 1,300	800	△ 1,600	300	△ 3,200	16,600	0.2%	△500	22
	富山	100	0.0%	+100	17	100	100	0	△ 100	200	200	500	0.0%	+300	15
	小松	19,000	0.3%	+1,700	9	2,600	0	3,100	100	4,000	200	39,400	0.4%	+2,400	11
	東京	1,940,700	35.1%	+66,200	1	294,500	20,100	305,200	10,600	360,600	19,500	3,901,200	35.7%	+160,700	1
	茨城	19,000	0.3%	△1,500	26	3,500	200	3,300	△ 200	3,700	0	40,100	0.4%	△2,000	24
	静岡	17,400	0.3%	+7,600	6	2,700	600	3,300	500	4,000	500	37,900	0.3%	+11,300	5
	名古屋	342,900	6.2%	+25,300	3	54,500	6,500	57,800	3,600	69,200	2,400	699,200	6.4%	+51,300	3
	伊丹	282,400	5.1%	+21,700	4	41,000	2,900	41,600	3,100	49,900	3,400	550,400	5.0%	+38,200	4
	関西	415,700	7.5%	+12,400	5	53,700	△ 1,100	56,700	△ 3,900	68,100	△ 5,500	779,300	7.1%	△1,800	23
	神戸	172,400	3.1%	△700	24	25,300	1,700	27,200	1,400	30,800	900	340,700	3.1%	+5,800	6
	岡山	23,400	0.4%	+1,000	12	3,200	100	3,500	△ 200	4,100	100	45,300	0.4%	+1,500	13
	広島	26,200	0.5%	△400	23	4,100	△ 300	4,000	△ 1,400	5,100	△ 1,300	54,600	0.5%	△3,300	25
	岩国	20,200	0.4%	+1,900	8	3,200	600	3,200	200	4,000	200	40,800	0.4%	+3,600	7
	高松	24,300	0.4%	△4,900	27	3,600	△ 100	3,100	△ 600	4,000	△ 600	46,300	0.4%	△7,200	27
	松山	19,600	0.4%	+1,200	10	3,300	400	3,200	200	4,000	200	40,500	0.4%	+2,900	9
	高知	0	0.0%	+0	18	100	0	200	200	100	0	600	0.0%	+100	17
	福岡	496,400	9.0%	+29,100	2	78,000	5,000	80,800	6,100	95,400	6,800	1,015,600	9.3%	+63,800	2
	北九州	0	0.0%	+0	18	0	0	0	0	100	0	200	0.0%	+100	17
	長崎	0	0.0%	+0	18	100	0	0	0	0	0	100	0.0%	+0	21
	熊本	21,200	0.4%	+1,100	11	3,900	300	3,500	100	4,000	△ 400	43,500	0.4%	+1,000	14
	大分	0	0.0%	+0	18	0	0	0	0	0	0	100	0.0%	+100	17
	宮崎	18,700	0.3%	+1,000	12	3,200	0	3,300	0	3,800	300	39,400	0.4%	+2,000	12
	鹿児島	73,500	1.3%	+2,900	7	10,800	△ 500	11,300	600	12,600	△ 100	144,800	1.3%	+3,000	8
	その他	6,700	0.1%	+1,000	12	500	0	300	△ 300	900	△ 100	11,000	0.1%	+2,600	10
外国 ／ 国 籍 別	台湾	652,300	11.8%	+154,300	-	92,500	+29,400	97,500	+44,200	116,000	+37,000	1,232,600	11.3%	+349,800	-
	韓国	273,800	4.9%	+71,300	-	64,000	+3,500	58,500	+12,100	50,600	+9,200	606,600	5.5%	+135,700	-
	中国本土	248,100	4.5%	+92,600	-	8,800	△32,700	19,400	△18,000	4,800	△11,900	363,500	3.3%	+26,200	-
	香港	119,000	2.1%	+28,700	-	20,700	+5,200	15,000	+4,000	17,900	+4,200	227,100	2.1%	+45,900	-
	アメリカ	23,300	0.4%	+5,200	-	2,900	△700	3,200	△800	5,600	△1,300	48,700	0.4%	△2,400	-
	カナダ	5,100	0.1%	+1,000	-	1,200	+400	1,200	+300	1,600	+0	13,100	0.1%	+1,000	-
	イギリス	5,400	0.1%	+1,000	-	1,000	+200	600	△200	1,400	△200	11,500	0.1%	+700	-
	フランス	3,100	0.1%	+1,300	-	900	+700	300	+100	900	+600	7,800	0.1%	+4,200	-
	タイ	10,300	0.2%	+1,400	-	2,100	+600	1,700	+0	2,400	+200	23,600	0.2%	+3,000	-
	シンガポール	10,400	0.2%	+3,100	-	2,500	+600	1,600	+100	2,600	+600	23,600	0.2%	+2,200	-
	マレーシア	4,700	0.1%	+1,100	-	1,300	+400	500	△300	1,100	+100	11,000	0.1%	+1,900	-
	インドネシア	2,400	0.0%	+800	-	900	+300	300	+0	400	+0	5,400	0.0%	+1,200	-
	オーストラリア	5,700	0.1%	+1,900	-	1,400	+400	700	+100	1,500	△500	12,600	0.1%	+1,900	-
	その他※	176,600	3.2%	+43,900	-	34,400	+9,700	18,800	+2,700	32,800	+5,200	353,800	3.2%	+78,100	-
総 計	5,535,200	172%	+574,400	-	836,000	+52,600	842,800	+61,400	977,900	+65,300	10,935,300	173%	+982,600	-	

※外国/国籍別の2026年3月分を更新しました。※外国/国籍別は3か月後に公表されます。
※その他には乗務員を含む

参考数値

● 月ごとの供給／需要／利用率

※提供座席数・利用率等の未記入箇所については、数値引用元にて集計中の内容となります。

(参考値)FSC・LCC内訳

		4月	5月	6月	4-6月計	年度計
国内	提供座席	771,264	-	0	-	-
	輸送実績	644,389	609,655	0	1,254,044	1,254,044
	利用率	83.5	-	-	-	-
海外	提供座席	231,632	236,049	0	467,681	467,681
	輸送実績	194,198	194,024	0	388,222	388,222
	利用率	83.8	82.2	-	83.0	83.0
合計	提供座席	1,002,896	-	0	-	-
	輸送実績	838,587	803,679	0	1,642,266	1,642,266
	利用率	83.6	-	-	-	-

	FSC	LCC
令和8年5月	500,800	107,000
令和7年5月	485,500	102,800
増減数	15,300	4,200
前年同月比	103.2%	104.1%
FSC・LCC比率	82.4%	17.6%

参考数値

● 路線別の供給／需要／利用率（国内累計）

国内		輸送実績（需要）				提供座席（供給）				利用率			需給 前年比 差異	概況
発地	着地	2026年度 累計	2025年度 同期累計	同期比		2026年度 累計	2025年度 同期累計	同期比		2026年度 累計	2025年度 同期累計	増減		
				前年比	増減			前年比	増減					
札幌	那覇	0	0		+0									
仙台	那覇	10,259	9,581	107.1%	+678									
新潟	那覇	728	5,733	12.7%	△5,005									
小松	那覇	7,839	7,316	107.1%	+523									
茨城	那覇	7,708	6,720	114.7%	+988									
羽田	那覇	537,506	507,430	105.9%	+30,076									
羽田	宮古	46,687	42,857	108.9%	+3,830									
羽田	石垣	59,487	57,458	103.5%	+2,029									
羽田	久米島	0	0		+0									
羽田	下地島	9,272	8,709	106.5%	+563									
静岡	那覇	7,096	6,173	115.0%	+923									
東日本エリア計		686,582	651,977	105.3%	+34,605									
名古屋	那覇	82,719	78,614	105.2%	+4,105									
名古屋	宮古	10,509	9,358	112.3%	+1,151									
名古屋	石垣	10,404	9,207	113.0%	+1,197									
中部エリア計		103,632	97,179	106.6%	+6,453									
伊丹	那覇	127,882	100,681	127.0%	+27,201									
伊丹	宮古	1,415	0		+1,415									
伊丹	石垣	1,041	0		+1,041									
関西	那覇	27,474	47,464	57.9%	△19,990									
関西	宮古	8,780	17,806	49.3%	△9,026									
関西	石垣	9,230	16,624	55.5%	△7,394									
神戸	那覇	52,455	55,276	94.9%	△2,821									
神戸	下地島	8,662	7,912	109.5%	+750									
岡山	那覇	10,020	10,814	92.7%	△794									
広島	那覇	10,970	10,584	103.6%	+386									
岩国	那覇	8,359	7,824	106.8%	+535									
高松	那覇	12,730	11,795	107.9%	+935									
松山	那覇	7,952	7,589	104.8%	+363									
関西・中四国エリア計		286,970	294,369	97.5%	△7,399									
福岡	那覇	139,562	136,871	102.0%	+2,691									
熊本	那覇	8,338	8,151	102.3%	+187									
宮崎	那覇	6,998	6,968	100.4%	+30									
鹿児島	那覇	14,618	15,104	96.8%	△486									
与論	那覇	5,314	5,353	99.3%	△39									
沖縄県	那覇	2,030	2,000	101.5%	+30									
九州エリア計		176,860	174,447	101.4%	+2,413									
国内/合計		1,254,044	1,217,972	103.0%	+36,072									

集計中

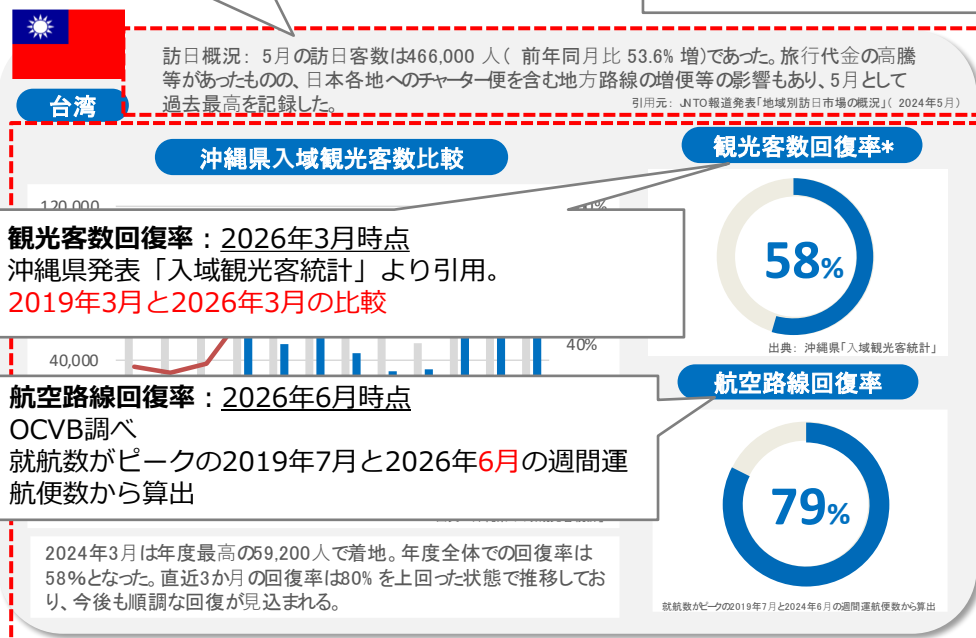
● 空港別の外国人入国者数（那覇/石垣/下地島） 出入国管理統計より引用

<2026年度>														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
那覇	175,019												175,019	90.8%
石垣	8,501												8,501	4.4%
下地島	9,159												9,159	4.8%
合計	192,679	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	192,679	100.0%

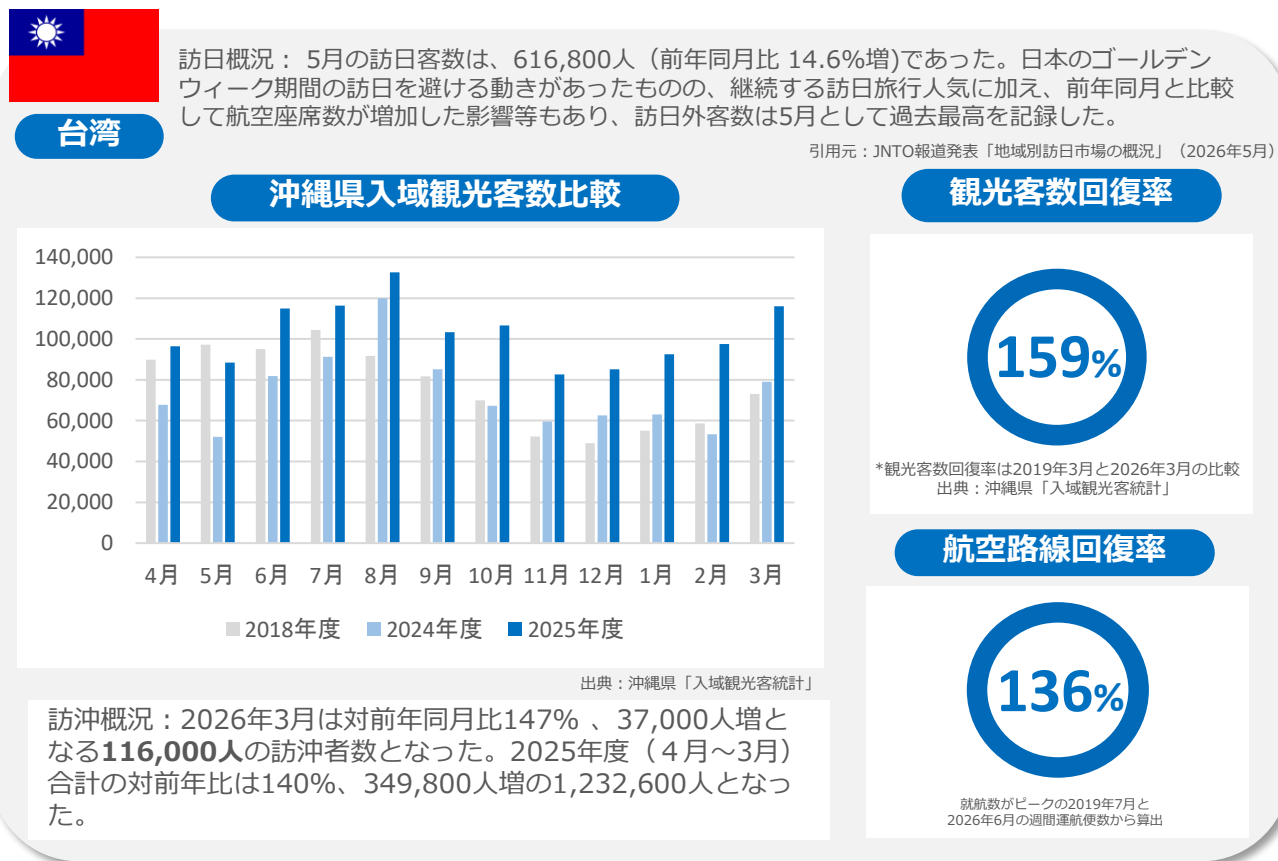
市場別概況の表の見方

訪日概況：2026年5月時点
JNTO報道発表
「地域別訪日市場の概況」より引用。

沖縄県入域観光客数概況：2026年3月時点
沖縄県発表「入域観光客統計」より引用。
※法務省出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、3か月後の同庁の公表後に確定版として公表。



市場別概況



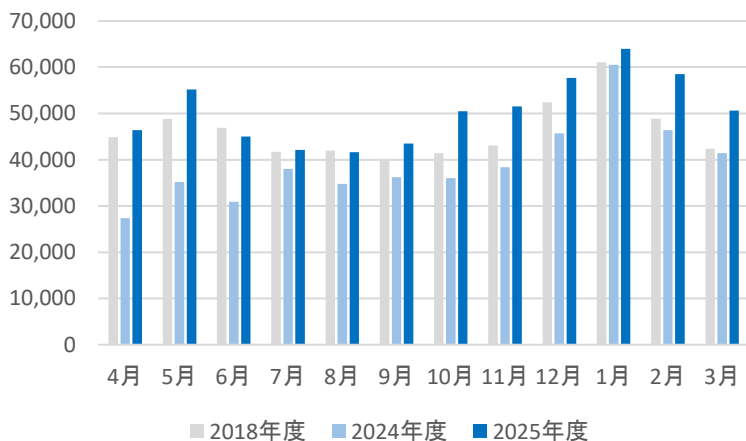


韓国

訪日概況：5月の訪日客数は、951,300人（前年同月比 15.2%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して航空座席数が増加したことや祝日の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年5月）

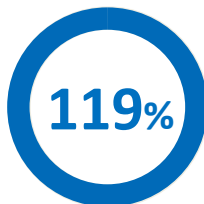
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年3月は、対前年同月比122%、9,200人増となる**50,600人**の訪沖者数となった。2025年度（4月～3月）合計の対前年比は129%、135,700人増の606,600人となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年3月と2026年3月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と
2026年6月の週間運航便数から算出

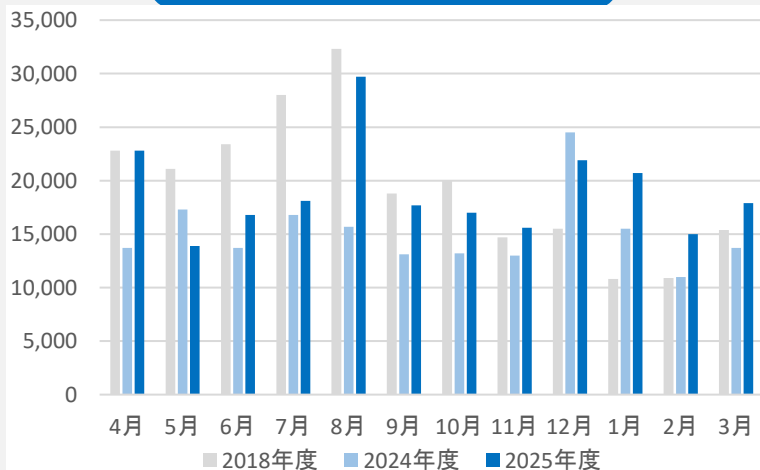


香港

訪日概況：5月の訪日客数は、207,900人（前年同月比 7.7%増）であった。前年同月と比較して航空座席数が減少したことに加え、日本のゴールデンウィーク期間の訪日を避ける動きがあったものの、祝日の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年5月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

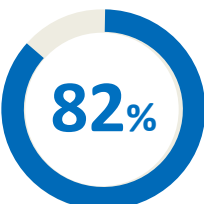
訪沖概況：2026年3月は、対前年同月比131%、4,200人増となる**17,900人**の訪沖者数となった。2025年度（4月～3月）合計の対前年比は125%、45,900人増の227,100人となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年3月と2026年3月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と
2026年6月の週間運航便数から算出

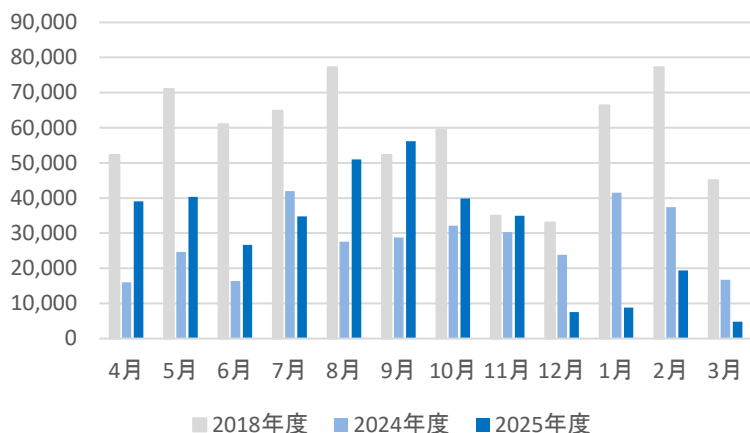


中国

訪日概況：5月の訪日客数は、313,000人（前年同月比 60.4%減）であった。中国政府より日本への渡航を避けるよう注意喚起があったほか、航空便の減便や前年は5月末に始まった端午節が今年は6月中旬となったことの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年5月）

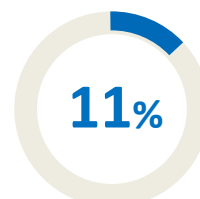
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

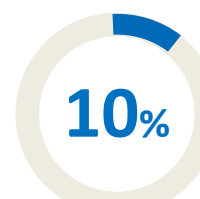
訪沖概況：2026年3月は対前年同月比29%、11,900人減となる**4,800人**の訪沖者数となった。日本への渡航自粛の影響が12月頃から見られたものの、4月から11月までの好調な入域実績が年間を通じて下支えした結果、2025年度（2025年4月～2026年3月）の訪沖者数は合計363,500人となり、前年度比108%（26,200人増）と前年を上回る結果となった。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年3月と2026年3月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と
2026年6月の週間運航便数から算出

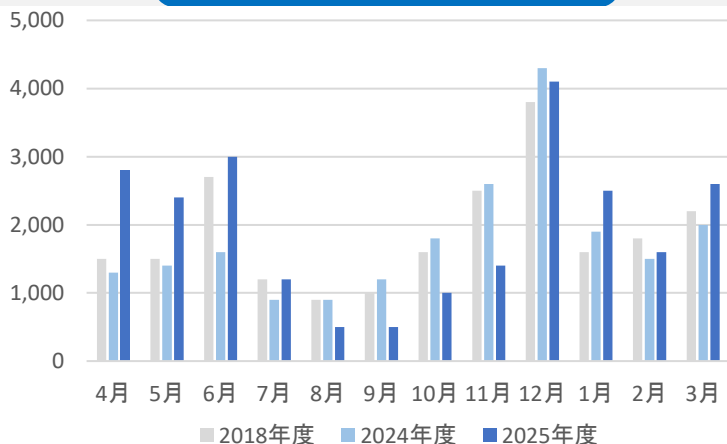


シンガポール

訪日概況：5月の訪日客数は、76,600人（前年同月比21.1%増）であった。訪中旅行の継続的な人気の影響等があるものの、スクールホリデーや祝日の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年5月）

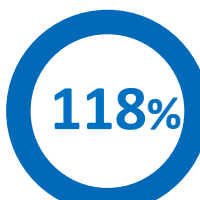
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年3月は対前年同月比130%、600人増となる**2,600人**の訪沖者数となった。2025年度（2025年4月～2026年3月）の訪沖者数は前年度比110%（2,200人増）合計23,600人となった。7月～11月にかけて直行便が運休したものの、12月中旬に直行便が再開されたことから、以降は増加傾向となっている。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年3月と2026年3月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と
2026年6月の週間運航便数から算出

5. エリア概況（海外）タイ・マレーシア

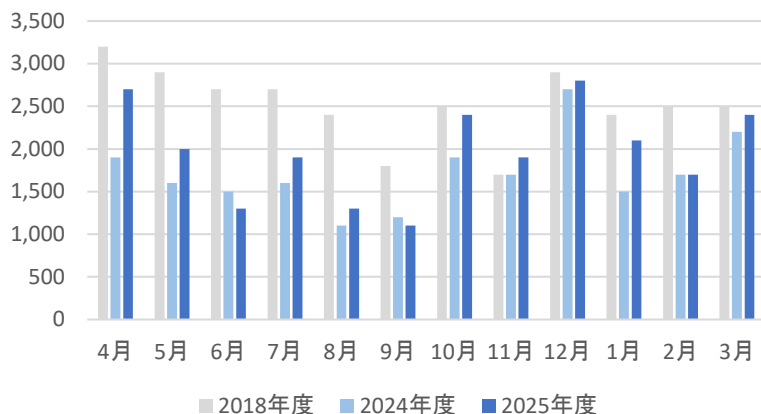


タイ

訪日概況：5月の訪日客数は、98,800人（前年同月比8.6%減）であった。継続する訪日旅行人気の影響等があるものの、祝日の並びが昨年と比べて悪かったことや、訪中旅行の継続的な人気の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年5月）

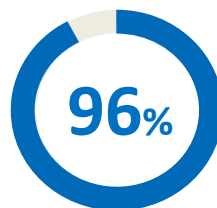
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

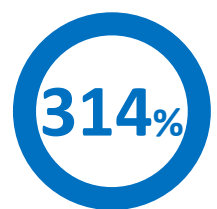
訪沖概況：2026年3月は対前年同月比109%、200人増となる**2,400人**の訪沖者数となった。2025年度（4月～3月）合計の対前年比は115%、3,000人増の23,600人となった。

観光客数回復率

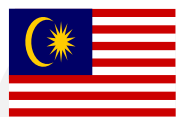


*観光客数回復率は2019年3月と2026年3月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2026年6月の週間運航便数から算出

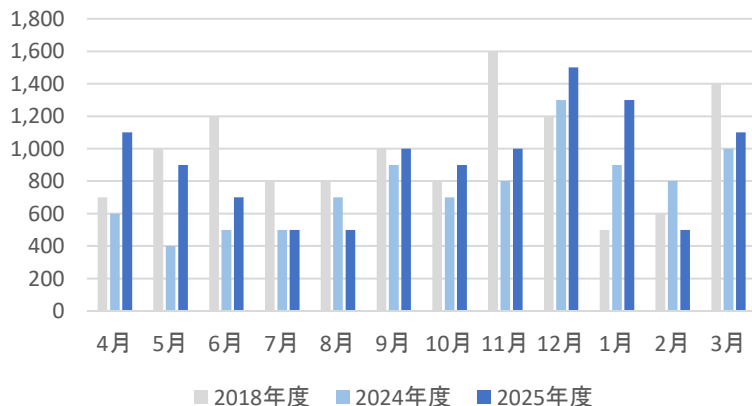


マレーシア

訪日概況：5月の訪日客数は、72,200人（前年同月比39.6%増）であった。訪中旅行の継続的な人気の影響等があるものの、スクールホリデーや祝日の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年5月）

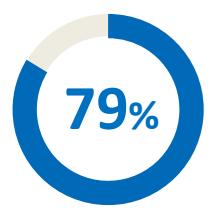
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年3月は対前年同月比110%、100人増となる**1,100人**の訪沖者数となった。2025年度（4月～3月）合計の対前年比は121%、1,900人増の11,000人となった。6月1日より台北-那覇経由便が運休のため今後の影響が懸念される。

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年3月と2026年3月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月は就航がなく、運休のため2026年6月の週間運航便数は無しとしています

5. エリア概況（海外）イギリス・フランス

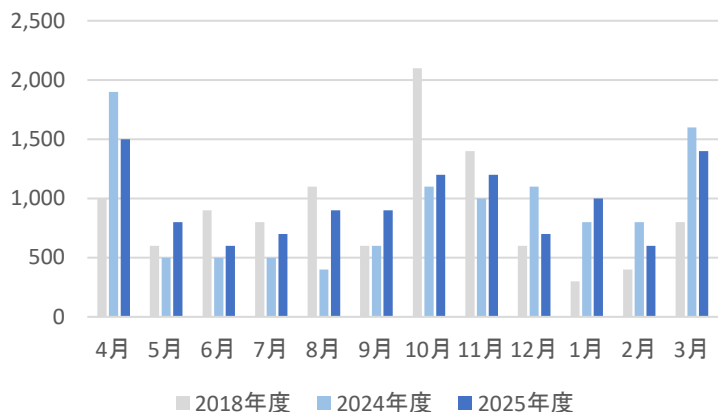


イギリス(本国)

訪日概況：5月の訪日客数は、55,200人（前年同月比 6.0%増）であった。5月は夏場に向け訪日需要が徐々に落ち着いていく時期であるなか、継続する訪日旅行人気に加え、5月下旬のスクールホリデーによる訪日需要の高まりの影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

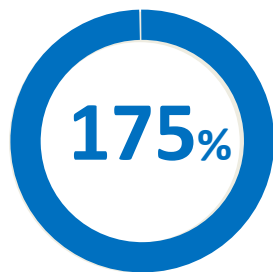
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年5月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年3月と2026年3月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年3月は対前年同月比88%、200人減となる**1,400人**の訪沖者数となった。2025年度（4月～3月）合計の対前年比は106%、700人増の11,500人となった。

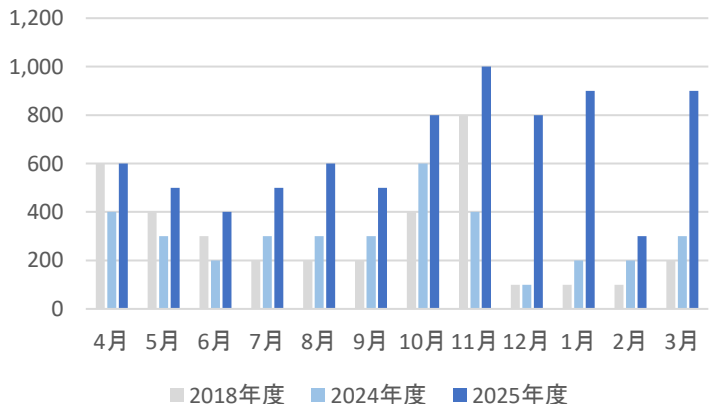


フランス

訪日概況：5月の訪日客数は、48,500人（前年同月比 5.3%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、祝日が複数回あったことによる旅行需要の増加の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

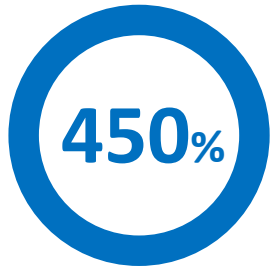
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年5月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年3月と2026年3月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年3月は対前年同月比300%、600人増となる**900人**の訪沖者数となった。2025年度（4月～3月）合計の対前年比は217%、4,200人増の7,800人となった。

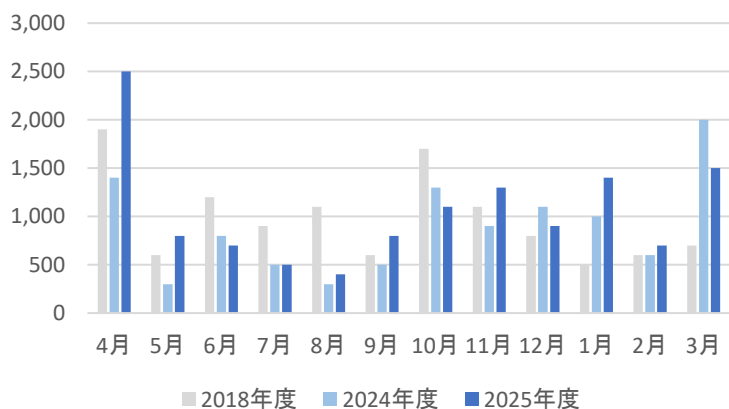


オーストラリア

訪日概況：5月の訪日客数は、82,300人（前年同月比 4.3%増）であった。5月は夏場に向け訪日需要が徐々に落ち着いていく時期であるなか、継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して航空座席数が増加した影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

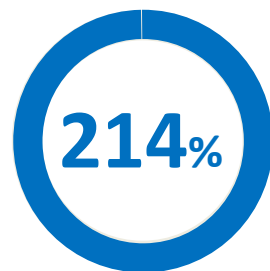
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年5月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年3月と2026年3月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年3月は対前年同月比75%、500人減となる**1,500人**の訪沖者数となった。2025年度（4月～3月）合計の対前年比は118%、1,900人増の12,600人となった。

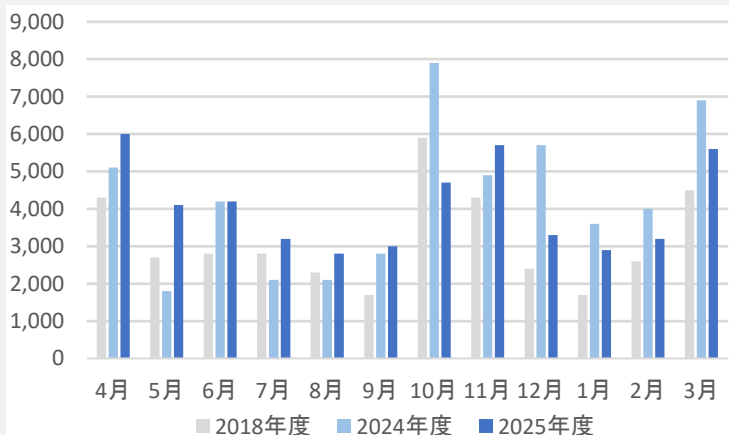


アメリカ

訪日概況：5月の訪日客数は、333,700人（前年同月比 7.0%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、祝日による旅行需要の増加や混雑するシーズンや夏場を避け5月に訪日する需要が一定数あった影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

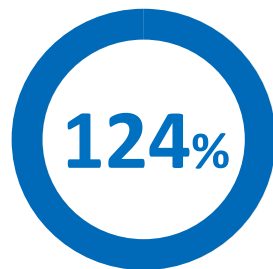
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2026年5月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率



*観光客数回復率は2019年3月と2026年3月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2026年3月は対前年同月比81%、1300人減となる**5,600人**の訪沖者数となった。2025年度（4月～3月）合計の対前年比は95%、2,400人減の48,700人となった。

国際線運航便数まとめ（那覇・下地・石垣 到着便）

到着地	那覇													下地				石垣			(2026年6月末現在)			
出発地	台北	台中	高雄	台南	北京	上海	福州	仁川	釜山	清州	香港	シンガポール	バンコク	クアラルンプール	台北	台中	仁川	釜山	台北	仁川	香港	全路線計	就航会社数	便数回復率
便数	77	16	15	2	0	4	0	42	11	7	32	4	22	0	3	4	7	2	4	7	4	263	22	102.7%

回復率は2019年7月の週間便数(256)を100として算出
最新のスケジュール・運航状況は航空各社のHPをご確認下さい。

那覇空港

沖縄県国際線運航状況

運航路線				種別	便名 (着・発)		運航曜日									運航時間			
							便数/週	月	火	水	木	金	土	日	備考				
台湾	台北		チャイナエアライン	FSC	CI	120/121	7	●	●	●	●	●	●	●			10:45	11:55	
				CI	122/123	7	●	●	●	●	●	●	●	●			19:45	20:55	
			スターラックス航空	FSC	JX	870/871	7	●	●	●	●	●	●	●			14:40	15:50	
			タイガーエア台湾	LCC	IT	230/231	7	●	●	●	●	●	●	●			9:20	10:10	
				IT	232/233	7	●	●	●	●	●	●	●	●			20:50	21:40	
			エバー航空	FSC	BR	112/113	7	●	●	●	●	●	●	●			9:15	10:15	
				BR	186/185	7	●	●	●	●	●	●	●	●			18:55	19:55	
	台中		Peach Aviation	LCC	MM	922/921	7	●	●	●	●	●	●	●			12:20	8:10	
					MM	924/927	7	●	●	●	●	●	●	●	●			17:35	13:15
					MM	930/929	7	●	●	●	●	●	●	●	●			20:50	16:45
			JTA	FSC	NU	302/301	7	●	●	●	●	●	●	●			12:35	8:25	
	高雄		スターラックス航空	FSC	JX	302/303	7	●	●	●	●	●	●	●			15:45	16:45	
				FSC	JX	312/313	7	●	●	●	●	●	●	●			19:10	20:10	
			タイガーエア台湾	LCC	IT	792/793	2	●				●					9:40	19:30	
		タイガーエア台湾	LCC	IT	288/289	7	●	●	●	●	●	●	●			13:00	14:00		
		タイガーエア台湾	LCC	IT	728/729	2		●		●					(那覇発は月・金)	18:10	10:30		
		チャイナエアライン	FSC	CI	132/133	6	●	●	●		●	●	●			18:45	19:45		
台南			タイガーエア台湾	LCC	IT	796/797	2				●			●	チャーター便	17:50	13:25		
中国	上海		春秋航空	LCC	9C	6245/6246	2		●				●			14:00	15:00		
			中国東方航空	FSC	MU	2085/2086	2	●			●						13:30	14:30	
韓国	仁川		アジアナ航空	FSC	OZ	172/171	7	●	●	●	●	●	●	●			17:15	18:15	
			大韓航空	FSC	KE	2147/2148	7	●	●	●	●	●	●	●			11:50	12:50	
			ティーウェイ航空	LCC	TW	281/282	7	●	●	●	●	●	●	●			13:35	14:35	
			チェジュ航空	LCC	7C	1801/1802	7	●	●	●	●	●	●	●			15:45	16:45	
			イースター航空	LCC	ZE	631/632	7	●	●	●	●	●	●	●			14:00	15:00	
			ジンエアー	LCC	LJ	341/342	7	●	●	●	●	●	●	●			12:05	13:15	
	釜山		ジンエアー	LCC	LJ	371/372	7	●	●	●	●	●	●	●			10:05	11:05	
			イースター航空	LCC	ZE	963/964	4		●		●		●	●	●	曜日によって時間が異なります。詳細はエアラインサイトへ	11:00	12:00	
香港	香港		香港エクスプレス	LCC	UO	842/843	7	●	●	●	●	●	●	●			10:40	11:35	
					UO	844/845	7	●	●	●	●	●	●	●	●			18:05	18:50
					UO	824/825	7	●	●	●	●	●	●	●	●			19:30	20:25
			香港航空	FSC	HX	658/659	7	●	●	●	●	●	●	●			15:10	16:10	
		FSC	HX	676/679	4	●	●	●		●		●			12:55	13:55			
シンガポール	シンガポール		スクート	LCC	TR	834/835	4	●		●	●			●			8:25	9:30	
タイ	バンコク (ドンムアン)		タイ・エアアジア	LCC	FD	240/241	4		●		●		●	●			15:05	16:05	
				FD	230/231	7	●	●	●	●	●	●	●		台北経由	15:55	16:55		
	バンコク (スワンナプーム)		タイ・ライオン・エア	LCC	SL	390/391	4		●		●		●	●		高雄経由	11:00	12:00	
				LCC	VZ	568/569	7	●	●	●	●	●	●	●		台北経由	17:20	18:20	
232 33 34 31 35 31 33 35																			

下地島空港

運航路線				種別	便名		運航曜日									備考	運航時間	
							便数/週	月	火	水	木	金	土	日	到着		出発	
台湾	台北		スターラックス	FSC	JX	890/891	3	●		●			●		2026.6/1〜7/26	13:00	14:00	
	台中		スターラックス	FSC	JX	308/309	4	●		●		●	●			10:50	11:50	
韓国	仁川		ジンエアー	LCC	LJ	357/358	7	●	●	●	●	●	●	●		11:00	12:00	
	釜山		ジンエアー	LCC	LJ	363/364	2				●			●	2026.4/2〜10/24	17:00	18:00	
							16	1	1	1	2	1	1	2				

石垣空港

運航路線				種別	便名		運航曜日									備考	運航時間	
							便数/週	月	火	水	木	金	土	日	到着		出発	
台湾	台北		タイガーエア	LCC	IT	736/737	4		●	●		●	●	●	●	2026.6.2~10/24	8:35	9:25
韓国	仁川		ジンエアー	LCC	LJ	361/362	7	●	●	●	●	●	●	●			12:00	13:00
香港	香港		香港エクスプレス	LCC	UO	858/879	4				●		●	●	●		10:40	11:30
							15	1	2	1	2	1	2	2				

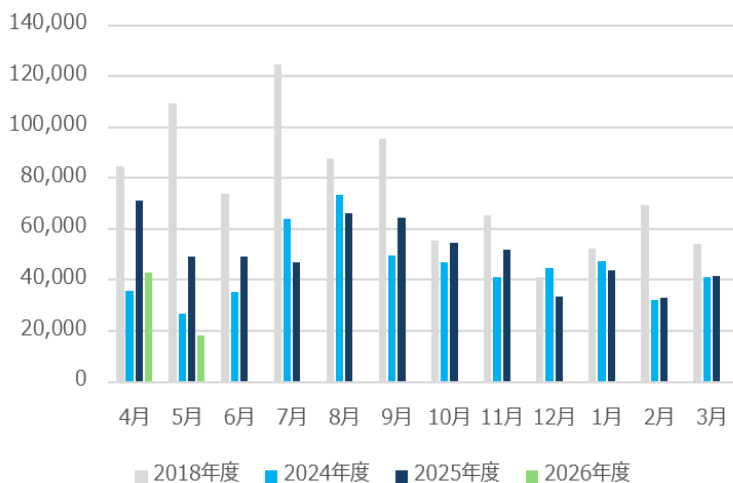
クルーズ

クルーズ市場概況

2026年5月の海路からの外国人入域客数（乗務員を除く）は、18,400人となり、前月（令和8年4月）と比べ約24,000人減少したほか、最も寄港が多かった2018年の同月と比べると約17%となった。

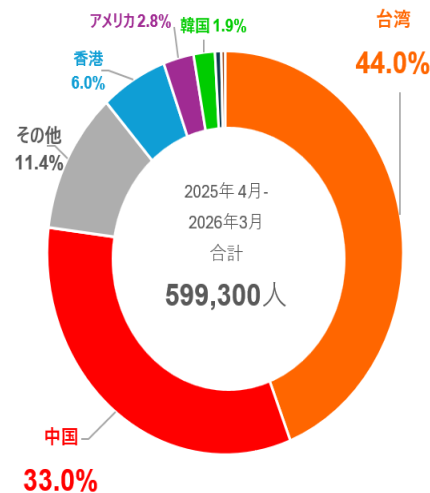
一方で2025年度（2025年4月～2026年3月）の海路からの国籍別入域客数においては、最も寄港が多かった2018年度（2018年4月～2019年3月）に比べ中国市場は半減したものの、台湾や韓国市場は100%を超える結果となった。引き続き中国市場の状況を見守りつつ、好調に推移している台湾や韓国市場を中心に寄港促進を図るほか、沖縄発着のクルーズ船も積極的に誘致していきたい。

クルーズ（外国客、海路） | 入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

国籍内訳



*外国人入域観光客数（海路）*乗務員除く

2018年度（ピーク時）の同期と比較

台湾	韓国	中国	香港
109%	314%	45%	98%

X（旧Twitter）にてクルーズ船の寄港情報を事前に発信

（一財）沖縄観光コンベンションビューローのクルーズ船公式アカウント。沖縄に寄港するクルーズ船の寄港情報を事前に地域の住民・事業者の皆様向けに発信します。クルーズ船寄港時のタクシー配車、店頭での販売強化など皆様のお役に立てば幸いです。以下のアカウント名より検索してフォローをお願いします。

アカウント名：【公式】沖縄クルーズ船寄港情報
プロフィール URL：
<https://twitter.com/OkinawaCruise>



クルーズ船寄港情報

那覇港：<https://nahaport.jp/users/kyakusen/>

石垣港：<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusen/370.html>

平良港：<https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kensetsu/kouwan/>

本部港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022459/1022074.html>

中城湾港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022455/1013162.html>



国内向けプロモーションについて

■7/25(土)～26(日) 合同物産展・シンポジウムのお知らせ (主催者別)

令和8年7月26日、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産登録から5周年を迎えます。この節目を記念し、遺産4地域の魅力や環境保全の取組を紹介するとともに、各地の特産品が楽しめる合同物産展が開催されます。

【物産展開催概要】

名称：遺産4地域合同物産展

「登録5周年記念まると世界自然遺産！

奄美・沖縄12市町村アイランドマルシェ」

日程：令和8年7月25日(土) 10時00分～20時00分

令和8年7月26日(日) 10時00分～17時30分

会場：那覇市内3会場（琉球新報本社ビル、県民広場、パレットくもじ前交通広場「UFURUFU」）

主催：沖縄県・鹿児島県

また26日にはシンポジウムが開催となり、HY(世界自然遺産大使)や辺土名高校生、土屋誠氏（琉球大学名誉教授）によるトークセッションのほか、各地域の関係者によるパネルディスカッションを実施予定です。（HYの皆様は25日のワークショップにも参加予定）

【シンポジウム開催概要】

名称：「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産登録5周年記念シンポジウム

日程：令和8年7月26日(日) 14時00分～16時30分（13時00分受付開始、事前予約制）

会場：琉球新報ホール（沖縄県那覇市泉崎1丁目10-3）

主催：奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産地域連絡会議

詳細：https://kyushu.env.go.jp/okinawa/press_00147.html



お問い合わせ先：国内プロモーション課（担当）渡嘉敷 TEL：098-851-9678 E-mail：kokunai_rosen@ocvb.or.jp

■ぜひ貴施設・店舗を「おきなわ物語」に掲載しませんか？ テナント情報登録のご案内

沖縄県・当財団が運営する沖縄観光情報WEBサイト「おきなわ物語」は、年間約1200万PV・513万アクティブユーザーの方にご利用いただいております。県内の様々な店舗情報を広く発信しており、閲覧する旅行者が魅力的な情報に触れることができるよう、各施設の皆様にテナント情報のご登録をお願いしております。

登録した情報は「おきなわ物語」内の店舗一覧に掲載されるほか、当サイトのライターによる記事や特集コンテンツで取り上げる機会が増え、貴施設・店舗の魅力がより多くの旅行者の目に触れるとともに、認知度向上や来訪促進につながることを期待できます。ご登録申請は以下URLから可能です！

ぜひ貴施設や各店舗情報のご登録についてご検討いただけますと幸いです。

●申請はコチラから ⇒ <https://www.okinawastory.jp/page/advertise>



お問い合わせ先：国内プロモーション課（担当）平井・兼城・木下・天久 TEL：098-859-6125 E-mail：okimono_cr@ocvb.or.jp

●クルーズターミナルでの県産品物産販売の実施

OCVBは、那覇港クルーズターミナルにて県産品の物産販売を実施しました。本件は、クルーズ船寄港に伴う経済効果を高めるため、那覇クルーズ促進連絡協議会(OCVBも参画)の取り組みの一環として、(株)沖縄県物産公社(わしたショップ)と連携し行った初の取り組みとなります。今回の販売は台湾からのクルーズを対象に実施しましたが、ファミリーを中心に、様々なお土産品を手に取り、楽しそうに選ぶ姿が印象的でした。多くのお客様にご購入いただき、予想を上回る売り上げがありました。OCVBでは今後も域内消費を促進し、経済効果を高め持続可能なクルーズ船の受け入れにつながる取り組みを推進します。



【取り組み概要】

日 時：6月4日(木)11:00～20:00 (船の寄港にあわせて実施)
場 所：那覇クルーズターミナル内
寄港船：STAR NAVIGATOR
航 路：基隆-鹿児島-那覇-基隆
販売品：県産品を活用した黒糖キャンディやゴーヤーチップス、菓子類等
連 携：那覇クルーズ促進連絡協議会・(株)沖縄県物産公社

【本件に関するお問い合わせ先】 海外プロモーション課 クルーズチーム [TEL:098-859-6127](tel:098-859-6127) E-mail : cruise@ocvb.or.jp

●「令和8年度JNTOマーケット研究会 米国市場」開催

OCVBでは、観光庁・JNTOとの共催にて「令和8年度マーケット研究会 米国市場」を開催いたします。米国からの訪沖インバウンド数は欧米豪市場全体の56%を占める最大のマーケットとなっており、今後が期待される市場です。新たなビジネス機会の創出や販路拡大のため、本研究会で米国市場への理解を深めてみませんか。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

日 程：令和8年7月28日(火) 10:00～12:00 (オンライン)

内 容：「JNTO LA事務所 マーケット研究会」

1. 10:00～11:00 「米国市場の最新動向」

登壇者：日本政府観光局(JNTO) LA事務所 所長 青島 美奈子

2. 11:00～11:15 「米国における沖縄観光プロモーション方針」

登壇者：米国沖縄観光レップ 小林 健二 (HIS LAオフィス事業推進部 部長) / OCVB 主事 稲福 雛子

3. 11:15～12:00 「JNTO LA事務所による個別相談会」

※ 1事業者1枠、事前申し込み制 (先着順により、以下3枠が埋まり次第締め切ります。)

・ 11時15分～11時30分 1枠 (15分間)

・ 11時30分～11時45分 1枠 (15分間)

・ 11時45分～12時00分 1枠 (15分間)

申 込：<https://forms.office.com/r/EM3c7aMZAR>

締 切：令和8年7月21日 (火) 17:00まで

「令和8年度マーケット研究会 米国市場」申し込みフォーム



【本件に関するお問い合わせ先】 海外プロモーション課 欧米豪チーム [TEL:098-859-6127](tel:098-859-6127) Email : okinawatourism@ocvb.or.jp

MICE推進課の取り組みについて

●沖縄MICEネットワークのご案内

「MICEを通じた知的・ビジネス交流の促進」や「MICEの活用・推進による県経済・産業の活性化」による沖縄振興の実現、多様な関係者が「お互いの垣根、競争・競合関係を超えた連携」を実現し、MICE振興に関する協働した取り組みを推進することを目的に設立された、産・学・官の連携機関です。

これからMICEビジネスに取り組みたい方、すでに取り組みでいて仲間を増やしたい方、どなたでもご参加いただけます。（会員数 約200団体 ※6月末現在）

会員は、賛助会員・特別会員の2種類です。

賛助会員：OMNの趣旨・活動目的に賛同する個人及び法人等（年会費有）

特別会員：OMNの趣旨・活動目的に賛同する経済団体、大学、行政機関、観光関連団体、MICE関連団体、産業支援団体及びその他これに準ずる団体（傘下に会員企業を持つ/公益的な役割を担う団体等）

【年会費】 **賛助会員**：15,000円 **特別会員**：無料

会員特典の一つとして、毎年1回開催される総会・交流会と、年に2～3回開催される勉強会へご参加いただけます。参考として、令和8年度の総会・交流会、勉強会（会員向けイベント）の一例をご紹介します。

第1部 総会	🕒 14:00～14:50	
	- 令和7年度事業報告及び収支決算について - 令和8年度事業計画及び収支予算について	
第2部 勉強会	🕒 14:55～15:45	
講師	日本政府観光局（JNTO） MICEプロモーション部 部長 巽 麻里子 氏	
第3部 交流会	🕒 15:50～16:50	
	- 新規入会事業者紹介 - 名刺交換会	
📅 7月23日(木) 14:00～17:00 会場 ノホテル沖縄那覇 那覇市松川40番地		



「MICEネットワーク」
の詳細はこちらから→



お問い合わせ先：久場・又吉・古波蔵
TEL：098-851-3765
E-mail：info@okinawamicenetwork.jp

沖縄MICEブランドをぜひご活用ください！

●沖縄MICEブランドをご存知ですか？

沖縄県およびOCVBでは、2018年3月に策定された沖縄MICEブランド「OKINAWA, Japan Where inspiration meets（ひらめきや創造性と出会える場所 沖縄）」を基に誘致プロモーション活動を展開し、本県のMICE振興に努めています。

MICEの主催者や、主催者へ提案をするプランナーの方々が**まず注目するのは**、「どのようなサービスを受けられるのか、開催できる場所があるのか（施設等の詳細情報）」ではなく、「**その土地にどのような特徴があるのか（開催地としての魅力）**」です。

「沖縄を選んでもらうための魅力訴求」、いわゆるデスティネーションマーケティングの一環として策定されたのが「沖縄MICEブランド」となっています。

MICEの開催地として沖縄が選ばれるためには、この「沖縄MICEブランド」を、多くの県内事業者の皆さまに活用、国内外の方へ発信いただくことが重要です。「ひらめき、開放感、活発な交流」といった、MICE開催地としての沖縄がもつ魅力とその効果が伝わるような下記の動画もぜひご活用ください！



こちらから → → →
MICEブランドの動画へ
アクセスできます！



お問い合わせ先：MICE推進課
TEL：098-859-6130
E-mail：mice@ocvb.or.jp

●今年度も「観光月間」の取組を実施いたします！

沖縄県観光振興条例第27条では、「県民一人ひとりが観光について考える日」として、8月1日を「観光の日」に定めています。OCVBは、観光を「自分ごと」として捉え、行動するきっかけづくりを目的とし、県民に観光を「知る・感じる」機会の創出を図るために本取組を実施いたします。賛助会員の皆さまにおかれましても、各地域・各事業所等での取り組みについて、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■実施内容

- ①沖縄県立図書館「沖縄の観光」パネル展
期間：令和8年7月29日(水)～8月17日(月)
会場：沖縄県立図書館（那覇市）
- ②那覇空港での空港歓迎式
日程：令和8年8月1日(土) 10:00～12:00頃
会場：那覇空港国内線・国際線（那覇市）
- ③「夏休みこども自由研究 in 沖縄コンベンションセンター2026」への出展
日程：令和8年8月8日(土)～9日(日) 10:00～18:00
会場：沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）



お問い合わせ先：
国内事業部 受入推進課 中山、具志堅
TEL：098-859-6129 ✉ukeirep@ocvb.or.jp

※追加情報は随時OCVBコーポレートサイトに掲載予定です

「沖縄観光の現状と展望」解説動画公開のお知らせ

国内事業部
受入推進課

●新入社員や県外・海外から就職した人材への基礎研修などにご活用ください！

OCVB観光人材育成センターでは、沖縄県受託事業の一環として観光業界で新たに従事する新入社員や県外・海外から沖縄に移住して働く人材に対し、沖縄の基礎知識や、観光の経済効果、県民生活への貢献度、沖縄の魅力などについて解説する動画を制作いたしました。新入社員研修の基礎研修などにぜひご活用ください！

■概要

内容：

- ①沖縄県の基礎知識
- ②沖縄観光について
- ③沖縄の魅力
- ④今後の沖縄観光
- ⑤まとめ

動画時間：17分24秒

配信期間：令和9年2月末



■視聴方法

観光人材支援のためのポータルサイト「育人（はぐんちゅ）」内のオンラインセミナーページからお申込みください。視聴後は是非アンケートへのご協力もよろしくお願いいたします。

<https://okinawa-hagunchu.jp/webinar/>



お問い合わせ先：
国内事業部 受入推進課 観光人材育成センター
花城、具志堅
TEL：098-859-6129 ✉ikusei@ocvb.or.jp

令和8年度 専門家派遣 参加事業者募集のお知らせ

●経営課題の解決をサポートする専門家を派遣します！

OCVB観光人材育成センターでは、沖縄県受託事業の一環として「専門家派遣」を実施しております。ヒアリング及び日程調整のうえ、事業者のご希望に適した専門家を派遣し課題解決をサポートいたします。経営についてお悩みをお持ちの観光事業者の皆様、課題解決の手助けとしてぜひご活用ください！

■実施概要

主 催：沖縄県、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
 申請期間：令和8年4月～令和8年11月末 ※予算上限に達し次第締め切ります。
 派遣時期：令和8年6月より順次
 派遣回数：4回程度
 派 遣 料：無料
 お申込み方法：募集要項をご確認の上、QRコードのリンクよりお申し込みください。

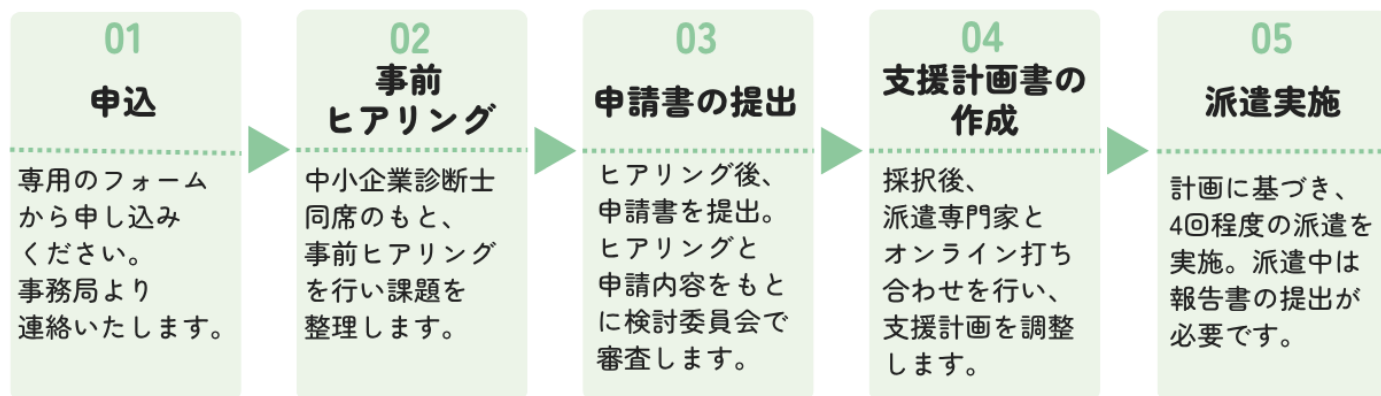
対象要件などの詳細
お申込みは[こちら](#)から▼



■支援内容

お申し込み後、提出いただいた申請内容とヒアリング内容から専門アドバイザーと協議の上、検討委員会の結果に基づき調整いたします。また検討委員会にて派遣が決定した後は担当する専門家と事前に打ち合わせを持ち、作成した計画書を基に4回の支援を行います。

■派遣フロー



■支援実績

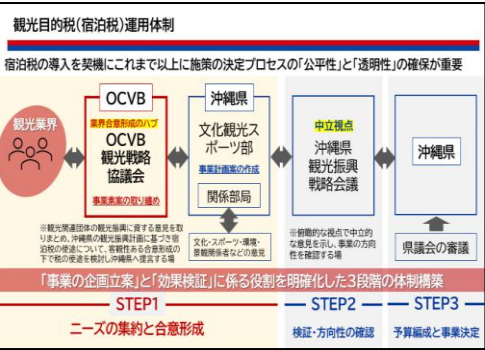
業種	相談内容	支援内容
宿泊業	採用しても離職率が高く、人材が定着しない	定期的な面談の導入に向け、社内の仕組みづくりと役職ごとのワークショップを専門家と共に実施した
飲食業	原価やコンセプトを意識したメニュー改定を行いたい	コンセプトの設計方法や原価管理の仕方についてアドバイスをを行い、メニュー改定の支援を行った
製造業	商品の製造が追いついていないため、フローや業務を見直したい	製造現場の配置や業務分担、商品や原価の管理方法を専門家が伴走して見直しを行い、生産力向上に取り組んだ

主な実績は宿泊業、観光施設などの顧客層のほとんどを観光客が占めている事業者をはじめ、飲食業やお土産の製造・販売に携わる小売業や製造業など多岐にわたります。

また、隔年でフォローアップ支援も実施し、実施後の事業者に対し同じ専門家を派遣することで、支援後の取組進捗や新たな課題に対応する支援も行っております。

お問い合わせ先：
 国内事業部 受入推進課 観光人材育成センター
 TEL：098-859-6129 ✉：ikusei@ocvb.or.jp

OCVB観光戦略協議会の立ち上げ



今年度、OCVBでは、**沖縄県宿泊税について、観光関連団体の観光振興に資する意見を取りまとめ、客観性ある合意形成の下で用途を検討し県へ提言する組織**として、OCVB観光戦略協議会を立ち上げました。本協議会は、観光業界の意見を集約し、合意形成を行う“ハブ”の役割を担います。

去る6月18日（木）に第2回OCVB観光戦略協議会を開催し、各委員へのヒアリング結果を基に、事務局から49の事業案を協議会で提案しました。今後、各委員との協議を経た後、事業案を県へ提言していきます。

これらのプロセスを経ることで、県民・旅行者・観光事業者3者が納得感のある観光振興施策の決定を目指します。

沖縄地区広域連携観光戦略会議

- 広域連携観光戦略策定のポイント
- 地域において目指す来訪者の設計
- 混雑地域から地方への誘客・分散
- 地域の関係者との相互連携
- 世界のトレンド（AI・Googleマップ・SNS）に対応した認知度向上
- 閑散期における誘客の促進による繁栄対策
- 関連する施策との連携

OCVBと内閣府沖縄総合事務局は、6月19日に第1回沖縄地区広域連携観光戦略会議を開催しました。本会議は、広域連携DMOであるOCVBと内閣府沖縄総合事務局を事務局とし、県内各地域DMO、国の地方支分部局、地方公共団体及び民間事業者等が参画し、広域連携観光戦略の策定及び推進に関する協議・合意形成を図ることを目的としています。

初回となる今回は、観光庁より第5次観光立国推進基本計画をはじめとする国の方針・取組について説明がありました。また、OCVBからは広域連携DMOの現状と課題、今後の戦略の方向性及びスケジュールについて共有しました。

引き続き、各ステークホルダーとの連携を深めながら、戦略策定に向けた協議・合意形成を図ってまいります。

DMO政策研究会



観光庁訪問「地方誘客実現に向けた広域連携DMO支援拡大に関する要望書」提出時の様子（令和7年10月16日）

全国10地域の広域連携DMOで構成される「広域連携DMO政策研究会」は5月29日、観光庁と「広域連携観光促進事業の制度改善および支援強化に関する意見交換」を実施しました。

圏域全体の魅力を高めながら地方誘客を進める広域連携DMOは、観光立国実現の要として期待される一方、財源や人材確保に課題を抱えていることから、制度・財政面の支援強化を国へ求めてきました。

OCVBは当会の一会員として、今後もより実効性の高い制度として発展させ、地方誘客の促進、広域周遊の拡大、地域の観光地域づくりの推進につなげ、制度の成果を最大化していくため、各DMO・国省庁関連機関との連携を強化してまいります。

2024-2026初代「沖縄観光大使」卒業・活動レポート①

令和4年度まで実施してきた「沖縄観光親善大使ミス沖縄」に代わる新たな沖縄観光PRの担い手として、2024年7月に活動を開始した初代「沖縄観光大使」は、2026年6月をもって2年間の任期を終えました。それぞれの部門に強みを持つ4名の観光大使が、沖縄の魅力をより深く、新たな切り口で発信してきた2年間の活動を振り返ります。

～伝統芸能部門 與那國 太介～



～令和6年7月20日・21日、
どさんこしまんちゅフェスティバル
with神戸・三宮2024にて～

舞台での演奏に加え、ブースでは訪れた人々へ
沖縄観光と文化について魅力を伝えました。

職業：三線演奏家 沖縄県立芸術大学院主席修了。幅広いジャンルの伝統芸能を得意とする。県内外、海外でも数多くの舞台公演に携わる。子どもから大人までレベルにあった三線教室を展開。

～主な活動実績～



～令和7年1月22日・23日、
沖縄観光感謝の集い2025in大阪、東京にて～

これまで沖縄観光の振興へ寄与いただいた皆さまへの感謝の意を表明し、さらなる沖縄観光の推進を図る場に、観光大使として與那國さんが登壇しました。空手やエイサーとのコラボ演奏を披露し、沖縄観光のPRを実施しました。



本人コメント：2年間、観光大使として活動させていただき、多くの出会いと貴重な経験を重ねることができました。活動を通して、沖縄の魅力を発信する責任を実感するとともに、自身の成長にもつながったと感じております。
また、沖縄の文化や伝統に触れる中で、その素晴らしさを改めて認識することができました。この2年間の経験を糧に、今後も沖縄の魅力を発信し続けてまいりたいと存じます。これまで関わってくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

～沖縄の食部門 嘉陽かずみ～



～令和7年1月28日「沖縄観光未来ビジョンコンテスト HYゴーゴーヤー収録」にて～
OCVB主催「沖縄観光未来ビジョンコンテスト」のピッチ部門にて最優秀賞を受賞した高校生と一緒に、テレビ番組「HYゴーゴーヤー」に出演。最優秀賞者のテーマが沖縄の伝統菓子であったため、沖縄の食部門の大使である嘉陽さんが出演しました。



～令和7年8月27日

「ちんすこうの日登録記念イベント」にて～
8月27日の「ちんすこうの日」に、那覇空港でイベントが実施されました。訪れた観光客に向けて、ちんすこうの作り方や歴史を交えた魅力を伝え、沖縄観光をPRしました。



本人コメント：活動を通じ、日本中、そして世界中の方々と出会えたことは、私の今後の活動において何物にも代えがたい糧となることでしょう。また、共に切磋琢磨し、活動を支え合った3名の仲間たちとの公務も、生涯忘れることのない素晴らしい経験となりました。結びに、沖縄観光の益々のご発展と、皆様のご多幸を祈念いたしまして、退任のご挨拶とさせていただきます。沖縄の食文化が、これからも多くの人々に愛され、次世代へと受け継がれていくことを願っております。

2024-2026初代「沖縄観光大使」卒業・活動レポート②

～スポーツ部門 仲本 百合香～

職業：タレント 幼い頃からバレーボールに熱中。県代表として全国大会出場経験あり。大学ではスポーツツーリズムを専攻し、中高保健体育の教員免許を取得。2018年ミススプラナショナル日本代表。

～主な活動実績～



～令和6年9月28日・29日、ツーリズムEXPOジャパン2024にて～
ステージにて、伝統芸能部門の與那國さんとの対談を実施。ブース内でパンフレット配布やスポーツ診断の実施などを通して、来場者へ沖縄観光の魅力をPRしました。



～令和7年8月29日から9月1日、北海道マラソン2025にて～
ブースでは来訪者へ、県内で実施するマラソン大会に関する情報を中心にコミュニケーションを深めました。マラソン当日は、沖縄観光大使として出走し、ランナーや沿道観衆に向けて沖縄をPRし、SNSでも同時配信を行いました。



本人コメント：就任以来、県内外の様々な場所で沖縄の魅力を発信してまいりました。自身の専門分野を活かした活動の中で、これまでの経験を発揮できたことはもちろん、新たに多くの学びを得られたことは、私の人生において大きな財産となりました。こうして無事に任期を全うできたのも、活動を常に温かく支え、導いてくださった関係各所の皆様、そして日頃から応援してくださる全ての皆様の多大なるご支援があったからこそと、心より深く感謝申し上げます。今後も初代大使としての経験を活かし、スポーツの視点から沖縄に貢献できるよう活動を続けてまいります。

～自然部門 張 エンユー～

職業：ネイチャーガイド 台湾出身。交換留学生として訪れた沖縄の自然に魅了され、移住。旅行会社勤務を経て、2018年から国頭村でネイチャーガイドをしている。

～主な活動実績～



～令和6年10月5日、沖縄観光未来ビジョンコンテスト事前勉強交流会にて～
OCVB主催「沖縄観光未来ビジョンコンテスト」に向け、大使の各専門分野に関する講話を実施しました。張さんからは、エコツーリズムや責任ある観光をテーマに、沖縄の自然を楽しみながら守るための考え方等について紹介しました。



～令和7年12月4日、OCVB賛助会員交流会にて～
賛助会員の皆さまに向けて、各大使から活動報告を行いました。張さんからは、日頃のネイチャーガイドとしての活動内容や、沖縄の自然の魅力について紹介しました。登壇後は、会員の皆さまと直接交流し、沖縄の自然や観光について意見を交わしました。



本人コメント：この2年間、沖縄観光大使として大好きな自然の情報を発信してきました。今年の6月をもちまして観光大使としての任期は満了となりますが、これからも一人のネイチャーガイドとして、やんばるの豊かな森から美しい海へとつながる沖縄の自然の素晴らしさを、世界中へ発信し続けていきたいと思ひます。

先日プレスリリース(<https://www.ocvb.or.jp/topics/4828>)でもお伝えした通り、初代 沖縄観光大使のバトンを引き継ぐ、2代目2026-2028沖縄観光大使の5名が選出されました。次号で詳しくご紹介予定です。お楽しみに！

■令和7年度 東京事務所における「おきなわ旅セミナー」および「観光PRコーナー」の実施報告

沖縄観光コンベンションビューロー東京事務所では、昨年度沖縄県内自治体や観光協会（長野県含む）と連携し、首都圏でのイベントや映画公開に合わせ「おきなわ旅セミナー」や「観光PRコーナー」を活用したPR等を計19件実施しました。

引き続き東京事務所は、唯一の県外拠点として、首都圏を中心に幅広く活動してまいります。「おきなわ旅セミナー」や「観光PRコーナー」など、今年度も実施いたしますのでPRご希望の方はお気軽にお問合せください。

①おきなわ旅セミナー（一般向け少人数セミナー）

一般のお客さまとのコミュニケーションの場としてご活用いただきました。リアル開催またはオンラインで沖縄現地をつなぎ、旬の情報や推しスポット、ロケ地・キャンプ地ならではのトークを交えてお届けしました。

【実施団体】

- 1.一般社団法人 伊江島観光協会
- 2.一般社団法人 金武町観光協会
- 3.一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会
- 4.久米島町役場 商工観光課
- 5.一般社団法人 読谷村観光協会



東京と沖縄をオンラインでつないでの開催



地元泡盛の試飲会を取り入れたセミナーは大盛況



映画公開に合わせたセミナーは、ロケ地マップを片手にご案内



ノベルティーはPR希望のものをセレクトしてお渡し

②観光PRコーナー

入口壁面やモニターを活用し、PRの場としてご利用いただきました。



壁面～モニターを活用したPR



映画公開に合わせたPRも実施

③今年度の取り組み事例



6/11(木)おきなわ旅セミナー「バスで旅する沖縄編」実施
バスマップ沖縄の谷田貝さんにお越しいただき、沖縄のバス旅について講演いただきました。

参加費無料
個人のお客様向け
おきなわ旅セミナー
もっと深掘り！名護市編
7月 2日(木) 16:00～17:15
講師：第52代名護さくら女王 城間 奈緒氏
場所：沖縄観光コンベンションビューロー東京事務所
住所：東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館5階
定員：先着10名様

沖縄県名護市にある「名護市観光協会」が主催する「おきなわ旅セミナー」は、沖縄の観光情報を詳しく紹介するイベントです。今回は「名護市編」を開催し、名護市の観光資源や歴史について詳しくお話しします。また、名護市の名産品や特産品もご紹介いたします。ぜひご参加ください。

TEL: 03-5220-5311
一般社団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 東京事務所

7/2(木) おきなわ旅セミナー「もっと深掘り！名護市編」開催！



SNS新企画！沖縄料理店やアンテナショップ等
首都圏の沖縄スポットを紹介していきます！

【OCVB東京事務所の公式SNSサイト】

首都圏で沖縄を楽しむための情報はこのアカウント！
イベント・フェア情報をいち早くお届け
いいね＆フォローで最新情報をチェックしよう



X



Facebook

ブセナ海中公園（海中展望塔・グラスボート）

<https://www.busena-marinepark.com/>



ブセナ海中公園での夏のイベント開催のご案内

ブセナ海中公園では、ザ・ブセナテラスと共催で「よりよい未来へつなぐ、海の日イベント」（タマンの稚魚放流イベント）を開催いたします。ブセナ海中公園の自然の豊かさを学び、感じることができる内容となっております。是非ご家族やご友人をお誘いの上、ご参加ください。

・よりよい未来へつなぐ、海の日イベント

ブセナ海中公園およびザ・ブセナテラスでは、毎年の海の日に合わせて、沖縄の美しいサンゴ礁の海と豊かな自然を守る活動としてタマンの稚魚放流イベントを開催しております。タマン（和名 ハマフエフキ）はサンゴ礁の海に生息し、沖縄で広く親しまれている魚です。今年も海の日の前日にあたる7月19日にブセナ海中公園がある部瀬名岬内のブセナビーチにてタマンの稚魚を放流するほか、海の生物の解説などを行います。

日 時	2026年7月19日（日） 13：00～15：00
料 金	無料
場 所	ブセナビーチ
内 容	<アクティビティ>13:00～ ・サンドアートチャレンジ ・メガサップ体験試乗会（サンゴ植付見学） <タマンの稚魚放流イベント> 14:00～ ・サンゴの保全活動紹介 ・海洋危険生物の説明・CPR実演 ・救命胴衣の正しい使用方法説明 ・タマン（ハマフエフキ）の紹介・稚魚の放流 ※イベントの内容は急遽変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
共 催	ザ・テラスホテルズ株式会社
問い合わせ先	ザ・ブセナテラス アクティビティカウンター（9：00～20：00） 0980-51-1357（直通）
備 考	ビーチを歩きやすい履物、帽子など日差し対策をお勧めします。



タマンの稚魚放流の様子

お問い合わせ先：ブセナ海中公園 TEL：0980-52-3379 E-mail：busena@ocvb.or.jp
 営業時間：夏期（4～10月）9：00～18：00（最終入館17：30） 冬期（11～3月） 9：00～17：30（最終入館17：00）
 不定休 *海況により営業中止あり

「県内在住者限定割引」実施中！ 施設観覧料20%割引

沖縄県民の皆様に当施設をご利用いただき、沖縄の魅力を再発見していただければ幸いです。賛助会員皆様のご利用を心よりお待ちしております。※県内在住を証明できる免許証等の身分証明書を、チケット購入時にご提示ください。

旧海軍司令部壕は、第二次世界大戦の末期、海軍が小禄飛行場（現在的那覇空港）を守るために造った軍事拠点であり、那覇市内、空港からも近い平和学習の場です。海軍壕公園は、東シナ海、那覇市街、首里城が展望できる高台にあります。琉球王国時代には、「火番森（ヒバンムイ）」と呼ばれ、中国や薩摩等からの来航を首里城に伝えるために「のろし」を上げる通信拠点でした。現在は、市民の憩いの広場として、また恒久平和の祈りの場所として整備され、多くの市民に親しまれています。

●第56回旧海軍司令部壕慰霊祭を執り行いました

本慰霊祭は、旧海軍司令部壕にて亡くなられたすべての御霊に哀悼の意を捧げ、二度と悲惨な戦争を繰り返さないという誓いを新たにすため、毎年、海軍司令官・大田實中將が自決された6月13日にあわせて執り行っております。

本年は戦後81年を迎える中、改めて戦没者への追悼の意を捧げるとともに、戦争の記憶と平和の尊さを次世代へ継承し、恒久平和への願いを広く発信する機会として慰霊祭を執り行いました。

当日は、戦没者ご遺族をはじめ、関係機関・団体の皆様、県内外の皆様にご参列いただき、厳粛な雰囲気の中、黙とうや献花を通して戦没者の御霊を慰めるとともに、平和への祈りを捧げました。また、宇栄原小学校の児童も参列し、平和の大切さについて理解を深める機会となりました。

●こどもまんなか月間イベントを実施しました

旧海軍司令部壕では、5月5日から11日までの「こどもまんなか月間」にあわせて、期間中の小・中学生の入場料を無料とするとともに、「平和の木プロジェクト」を実施しました。平和の木プロジェクトでは、来館した子どもたちやご家族の皆さまに「平和への願い」をメッセージカードへ記入していただき、一枚一枚の想いを集めて大きな“平和の木”を完成させました。参加者からは平和への願いが込められた多くのメッセージが寄せられ、親子で平和について考える機会となりました。

●遊具広場の「ユニバーサルエリア」が7月1日(水)午後より供用開始となりました！！



整備を進めておりました遊具広場のユニバーサルエリアが7月1日(水)午後より供用開始となりました。ユニバーサルエリアは、年齢や障害の有無にかかわらず、多くの子どもたちが一緒に遊び、交流できる空間です。供用開始後は、より多くの皆さまに親しまれる遊び場となるよう安全で快適な環境づくりに努めてまいります。下記のお知らせページも是非ご覧ください。

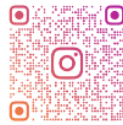
<https://kaigungou.ocvb.or.jp/2026/06/29/3853/>

お問い合わせ先：旧海軍司令部壕事業所

営業時間：9：00～17：00（最終入館16：30）年中無休

TEL：098-850-4055 E-mail：kaigungo@ocvb.or.jp

SNSのフォローも
よろしくお願いします！



KAIGUNGO_OKINAWA

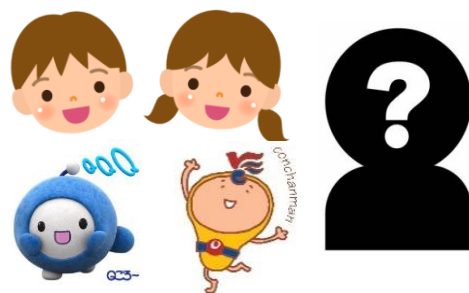
沖縄コンベンションセンター自主事業①夏休みこども自由研究



QAB（琉球朝日放送）との共同事業として2008年からスタートし、今回で16回目を迎える「夏休みこども自由研究」は、これまでに延べ35万人の来場者を記録しており、沖縄県民に愛されるイベントになりました。夏休みという絶好の機会をとらえ、沖縄の貴重な生き物や自然を身近に感じ、素晴らしさに触れ、自らを取り巻く環境に対し、気づき/考え/行動することを目的に開催しています。

こどもの頃に体験した“感動”は、大人になっても残り続けるものです。今年も沖縄の未来を担うこども達に“感動”と“自由研究の材料”をお届けします。

- ◆催事名称：夏休みこども自由研究 in 沖縄コンベンションセンター
- ◆主催：沖縄コンベンションセンター、琉球朝日放送(株)
- ◆開催日程：2026年8月8日(土)・9日(日) 10:00～18:00
- ◆会場：沖縄コンベンションセンター 展示棟・会議棟A・B
- ◆対象：小学生・中学生
- ◆集客延数：30,000人(目標)
- ◆イベントHP：<https://www.qab.co.jp/jiukeng/>



わたしたち「こども館長」と関係者が一丸となり今年もイベントを盛り上げます。今年はスペシャルゲストの登場もあるかも！？
夏休みの自由研究のテーマを一緒に探そう！

沖縄コンベンションセンター自主事業②琉球フェスティバル2026 沖縄



大阪・東京の二大都市で開催され、民謡からポップスまで、バラエティ豊かな沖縄音楽の祭典として毎年大いに盛り上がりを見せてきた「琉球フェスティバル」。今年は1998年以来、実に28年ぶりの沖縄開催が決定！

- ◆催事名称：琉球フェスティバル 2026 沖縄
- ◆主催：沖縄コンベンションセンター、ぴあライブクリエイティブ(株)、エフエム沖縄
- ◆制作：ピーエムエージェンシー
- ◆後援：沖縄県、宜野湾市、OCVB、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、ラジオ沖縄、沖縄タイムス社、琉球新報社（順不同）
- ◆協力：文化放送、FM COCOLO、GREENS
- ◆開催日程：2026年9月23日(水祝) 開場14:00、開演15:00
- ◆会場：沖縄コンベンションセンター 劇場棟
- ◆公式HP：<https://www.pmnet.co.jp/events/2026/ryukyufestival/>
- ◆料金：全席指定7,000円(税込)
- ◆出演/司会：知名定男、大工哲弘 with 苗子、島袋優(BEGIN)、キヨサク(MONGOL800/UKULELE GYPSY)、元ちとせ、かりゆし58、ディアマンテス、パーシャクラブ、ネーネーズ、島袋辰也、喜友名朝樹、琉球國祭り太鼓、津波信一(司会)

【お問い合わせ先】

沖縄コンベンションセンター (OCC) 受付時間 09:00～17:00

TEL：098-898-3000 FAX：098-898-2202

公式HP：<http://www.oki-conven.jp/> メール：info@oki-conven.jp



沖縄コンベンションセンター
Okinawa Convention Center

	事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1	令和 8 年度奨学金代理返還支援事業	県内中小企業の人材確保・定着を支援するため、企業が従業員に対して行う奨学金代理返還支援に対し、企業が負担する経費の一部を補助する。 【対象企業】 1.沖縄県内に本社のある中小企業 2.従業員に対する奨学金返還支援制度を有していること ※その他条件についてはHPをご覧ください。 【対象期間】 令和8年4月～令和9年3月 【申請期間】 令和8年4月～令和9年2月26日（申請日の属する月以降に行った給付が補助対象）	全事業者 ※沖縄県内に本社のある中小企業	https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/keizai/1009879/1010143/1010156.html	
2	令和 8 年度外国人材受入支援事業	外国人材を受け入れたい企業を対象に、①相談窓口の設置、②セミナー、③マッチングイベントを実施する。 【①相談窓口】 外国人雇用に関する悩み、企業の課題整理、解決策のアドバイス、また、必要に応じて行政書士等の専門家を派遣し、対面相談による複数回の伴走支援、企業の魅力発信を目的としたインターンシッププログラムの作成支援等を実施。 【②セミナーの開催】 在留資格の制度概要、外国人材採用のポイントや流れ等について、企業、外国人留学生、県内の外国人労働者向けにセミナーを実施。 【③マッチングイベント】 県内の大学・専門学校・日本語学校等の留学生が県内企業とマッチングできるよう、合同企業説明会（マッチングイベント）を開催。 ※詳しくは事業HPをご覧ください。	全事業者	https://www.yuiyui-gaikokujinzai.com/	
3	令和 8 年度沖縄県所得向上応援企業支援事業	稼いだ企業所得を従業員に適切に分配し、給与向上や正規雇用化に取り組む企業を認証する制度。これまで183社を認証。 【対象条件】 沖縄県内での事業実績が1年以上ある法人又は個人事業者 【認証基準】 ①給与支給総額の伸び率、②給与平均額、③時給増加額、④財務情報の開示、⑤正規雇用、男女雇用比率の開示 【インセンティブ】 ①認証企業の広報PR（うまんちゅ広場やHP、認証式等） ②奨学金返還支援事業の補助額拡充 ③補助事業採択審査及び業務委託企画選定審査における加点点 ④公庫金利優遇 ⑤認証企業が集まる交流会への参加 等 【申請期間】 通年	全事業者	https://www.shotokukoj.o.okinawa/	商工労働部 雇用政策課 Tel. 098-866-2324
	令和 8 年度UIターン就職・転職・採用活動交通費支援事業（個人向け：ちゅらターン交通費補助金、企業向け：かりゆしビズターン交通費補助金）	県外在住者の県内就職を促進するため、県内での就職・転職活動に係る交通費等の一部を補助する。 また、県内企業等が負担した県外在住応募者の採用活動に係る交通費等の一部を補助する。 【対象者】45歳未満の県外在住者、又は、県内企業等 【対象活動】①企業説明会、②インターンシップ、③採用面接、④移転 【対象経費】1.交通費 2.宿泊費 3.移転費 【補助額】対象経費×1/2 （個人：上限5万円/回、年度内3回まで申請可） （企業：採用人数1人以下上限15万円 採用人数2人以上採用人数×15万円） 【申請方法】「りっか沖縄」サイト内申請フォームより申請 【申請期間】個人：活動の翌月10日（3月のみ3/31）までに申請 企業：年 3 回申請期限あり（7/31、11/30、3/31） ※UIターン就職相談マッチングサイト「りっか沖縄」への登録必須	公務員を除くすべての業種	https://www.pref.okinawa.lg.jp/shigoto/koyorodo/1012003/1012013/1012016.html	

◇観光施設・飲食・土産品(会員様数:66)	◇宿泊施設(会員様数:114)	ハイアットリージェンシー 瀬良垣アイランド沖縄	沖縄高速印刷株式会社
株式会社アムスジーヴィス	ロワジールホテル&スパタワー 那覇	ノホテル沖縄那覇	有限会社中部電算フォーム
有限会社うえち	パシフィックホテル沖縄	ホテルコレクティブ	株式会社アドップ
ステーキハウス88グループ 株式会社沖縄テクノリイト	沖縄ハーバービューホテル	JR九州ホテル ブラッサム那覇	株式会社ワンダーリ्यूキュー
株式会社グレートイースタン	株式会社かりゆし	東急ステイ沖縄那覇	株式会社イー・ステート・オンライン
琉球料理と琉球舞踊 四つ竹 株式会社幸	ホテルJALシティ那覇	株式会社邦企画開発	有限会社ウエスト沖縄
株式会社ジェイシーシー	南西観光ホテル	ホテル星立西表島(株式会社HEAトラストグループ)	IJU株式会社
有限会社ちめまんフーズ	リーガロイヤルグラン沖縄	スマイルホテル那覇シティリゾート	有限会社太陽印刷
フォーモストブルーシール株式会社	リッチモンドホテル那覇久茂地	東横イン那覇おもろまち駅前	株式会社エンジョイOKINAWA
レストショップ 琉球の館	メルキュールホテル沖縄那覇 (エイ・エイ・ピー・シー・ジャパン株式会社)	株式会社東横イン那覇新都心おもろまち	株式会社エアポートTVネットワークジャパン
ナゴバйнаッパルパーク (株式会社名護パイン園)	東横INN那覇国際通り美栄橋駅	リゾート琉球株式会社	株式会社ケイツープランニング
株式会社南部	ダイワロイネットホテル那覇国際通り	沖縄UDS株式会社	株式会社ジョイント沖縄
株式会社マレア・クリイト (宜野湾マリン支援センター)	株式会社西鉄ホテルズ	星のや沖縄	
中村家住宅(国指定重要文化財中村家住宅)	COMMUNITY & SPA 那覇セントラルホテル	ヒルトン沖縄瀬底リゾート	
体験王国&ホテル むら咲むら(株式会社読谷クルリゾート沖縄)	バームロイヤルNAHA国際通り	ANAクラウンプラザリゾート沖縄うるまヒルズ	
沖縄フルーツランド株式会社	ダイワロイネットホテル沖縄県庁前	ベストウエスタン	
ネオパークオキナワ (名護自然動植物公園株式会社)	株式会社ホテルグランビュー	レクー沖縄北谷スパ&リゾート	◇情報通信・IT(会員様数:16)
株式会社森のガラス館	ホテルオーシャン	ブセナリゾート株式会社	株式会社オーシーシー
株式会社優美堂	ホテルパークスタジアム那覇	有限会社とかしきマリンビレッジ	株式会社沖縄映像センター
沖縄アウトレットモールあしびなー(大和ハウスリアルティマネジメント株式会社)	ホテル沖縄withサンリオキャラクターズ	ヒューイットリゾート那覇	Gネットワーク株式会社
豊崎ライフスタイルセンター TOMITONテナント会(株式会社ザイマックス九州)	沖縄GRGホテルズ株式会社	株式会社ピース企画	NTT西日本 沖縄支店
沖縄ディーエフエス株式会社	一般財団法人沖縄県青年会館	株式会社南西楽園リゾート	株式会社オキョト
ANA FESTA株式会社 沖縄店	ソルヴィータホテル那覇	OMO5沖縄那覇by星野リゾート	株式会社ブレイン
株式会社タイラ	ダブルツリーbyヒルトン那覇	沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん	NO MARK Inc.
株式会社琉民	ラグナガーデンホテル	ホテル・アンドルームス那覇ポート	テトラビット
株式会社沖縄県物産公社	ベッセルホテルカンパナ沖縄	琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ	沖縄Hibi(ハイビ)
株式会社御菓子御殿	株式会社KPG HOTEL & RESORT	HIYORIオーシャンリゾート沖縄	富士通Japan株式会社 沖縄支社
株式会社沖縄黒糖	株式会社EM研究機構	ヒルトン沖縄宮古島リゾート	キッセイコムテック株式会社
ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校	Royal Hotel 沖縄残波岬	ユナイテッドリゾート	ガリレオスコープ株式会社
株式会社ナンポー	ホテル日航アリビラ	リゾナーレ小浜島	株式会社タイミー
東南植物楽園	リザンサーパークホテル谷茶ベイ	PGMホテルリゾート沖縄	SOCIALPORT株式会社
公益財団法人沖縄協会 (沖縄平和祈念堂)	ANAインターコンチネンタル 万座ビーチリゾート	株式会社ヨンヨンゴ	Nutmeg Labs Japan株式会社
イオンモール沖縄ライカム	ルネッサンスリゾートオキナワ	EXES石垣	琉球パブリックリレーションズ株式会社
味と踊りの竜宮城うらしま	ムーンホテルズアンドリゾート株式会社	ユインチホテル南城	
有限会社キャプテンズグループ	オリエンタルホテル 沖縄リゾート&スパ	コートヤード・バイ・マリOTT沖縄リゾート	
株式会社フードサービスもとぶ	シェラトン沖縄サンマリーナリゾート		
有限会社料理亭那覇	カヌチャリゾート		
琉球ガラス村	ザ・テラスホテルズ		
恩納ガラス工房 (株式会社恩納ガラス工芸育成センター)	ザ・リッツ・カールトン沖縄	◇印刷・広告(会員様数:53)	
恩納海浜公園ナビビーチ	ホテルリゾネックス名護	有限会社アートプリント	◇マリンレジャー・スポーツ(会員様数:20)
ピオスの丘	ホテルゆがふいんおきなわ	有限会社アイディー・ブランド	ザ・サザンリンクスゴルフクラブ (株式会社アコーディアAH02)
有限会社首里琉染	ホテルマハイナ ウェルネスリゾートオキナワ	株式会社アカネウエーション	かねひで喜瀬カントリークラブ
株式会社琉球民芸センター	ロイヤルビューホテル美ら海	あけぼの印刷株式会社	株式会社シーサー (マリンハウスシーサー)
道の駅許田 (やんばる物産株式会社)	リゾートホテル・ベル・パライソ	株式会社アドスタッフ博報堂	有限会社トップマリン残波
株式会社おきなわ屋	YYY CLUB iE RESORT	株式会社うるま印刷	TOTAL MARINE SPOT NEWS
株式会社U-MORE (島しゅぶしゅなNAKAMA)	オクマプライベートビーチ&リゾート	沖縄インデックス	有限会社ぶしいぬしま
株式会社 徳慶	株式会社宮古島東急ホテル&リゾート	沖縄広告株式会社	mic21株式会社
琉球村 (多幸山株式会社)	ANAインターコンチネンタル石垣リゾート	協同組合沖縄産業計画	アブリシエイト
株式会社エーデルワイス沖縄	クラブメッド 石垣島	株式会社近代美術	有限会社タイド
東村ふるさと振興株式会社	星のや竹富島	株式会社サン印刷	一般財団法人健康科学財団
株式会社ashibi enterprise	アートホテル石垣島	株式会社サン・エージェンシー	株式会社パディ・アジア・パシフィックジャパン
株式会社沖縄物産企業連合	南の美ら花ホテルミヤヒラ	株式会社尚生堂	株式会社シーボワール (マリンクラブUMI)
NPO法人自然体験学校	ホテルグランビュー石垣新川	株式会社城野印刷所 沖縄営業所	株式会社南洋社中 (沖縄海あしび)
株式会社がんじゅう	石垣シーサイドホテル	株式会社スカイ企画	株式会社NASH
城紅型染工房	はいむぶし	株式会社宣伝	株式会社ブルーフィールド
DMMかりゆし水族館	ロイヤルホテル	第一印刷株式会社	ダイビングサービスジャミング
イース沖縄豊崎(大和ハウスリアルティマネジメント株式会社)	株式会社ロイヤルマリンパレス	株式会社電通沖縄	有限会社やんばる自然塾
釣って見つけるぼうけんの国	ヒルトン沖縄北谷リゾート	株式会社東洋企画印刷	ヤンバルンチャー
万座毛株式会社	那覇東急REIホテル	株式会社東洋企画印刷	有限会社ディー・ランド
バナナパラダイス 那覇空港店	スマイルホテル沖縄那覇	株式会社トモエ	OCEANS/新原海底観光センター
株式会社 日本パイオテック	沖縄ホテル	株式会社明治アドエージェンシー	
南城美術館	ウィークリーハーバービューマンション本館	株式会社BBDO J WEST 沖縄支店	
株式会社ジャパンエンターテイメント	ザ・ビーチタワー 沖縄	株式会社ヒラヤマ	
古宇利島の駅ソラハシ	株式会社守礼	株式会社プロダクツ・プランニング	
沖縄南風堂株式会社	ホテルみゆきビーチ	丸正印刷株式会社	
有限会社川平マリンサービス	本部グリーンパークホテル・ゴルフ場	株式会社ブレン沖縄	◇イベント・ウェディング・舞台関係(会員様数:8)
CAVE OKINAWA	石垣島ビーチホテルサンシャイン	株式会社琉球新報開発	沖縄ワタベウェディング株式会社
	ネイチャーみらい館	株式会社ワイド	株式会社ブライダルハウスチュウ沖縄
	ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート	株式会社琉球若草	有限会社池宮商事
	ハイアットリージェンシー那覇沖縄	沖電企業株式会社	有限会社サウスエリア
	HOTEL AZAT	株式会社リマープロ	有限会社インプレスト
	ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城	株式会社ディリー・インフォメーション	株式会社ブリックス
	ホテルグレイスリー 那覇	株式会社国際印刷	サニースウェディング
	ワンスイートホテル&リゾート古宇利島	株式会社真宣組	一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会
	海の旅亭おきなわ名嘉真荘	株式会社ファンファーレ・ジャパン	
	株式会社前田産業ホテルズ	株式会社べんぎん	
	ホテルライジングサン宮古島	株式会社池宮商会	
	東横イン那覇旭橋駅前 (株式会社東横イン)	株式会社旭堂	
	ホテルルートイン那覇泊港	有限会社福琉印刷	
	ハレクラニ沖縄		

◇卸・小売・販売(会員様数:25)	◇人材派遣・翻訳・通訳(会員様数:9)	株式会社ビジネスランド	株式会社ビジネスランド
オリオンビール株式会社	株式会社リクルートライフスタイル沖縄	琉球警備保障株式会社	
くーすの杜 忠孝蔵	株式会社ブレンティー	株式会社りゅうせき	
まさひろ酒造株式会社	株式会社沖縄リレーションシップ	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社	
株式会社サンエー	株式会社チャイナゲートウェイ	株式会社沖縄ダイケン	
株式会社プラザハウス	株式会社マイナビ 沖縄支社	有限会社沖縄花火	
株式会社奥原商事	株式会社沖縄コングレ	株式会社住太郎ホーム	
沖縄食糧株式会社	株式会社サポートスタッフ沖縄	株式会社沖縄第一興商	
株式会社フジタクリエイション	株式会社グッドマンサービス	株式会社ネオオックスワン	
株式会社チェリオ沖縄	株式会社ヒト・コミュニケーションズ	リゾートベビシッターサービス ワールドキッズ	
株式会社JTB商事 沖縄支店		沖縄の風合同会社	
サントリーフーズ沖縄株式会社		吉本興業株式会社(よしもとエンタテイメント沖縄)	
株式会社サップロドラッグストアー		レンタル琉装veni	
株式会社ホクガン	◇学術・研究・コンサル(会員様数:7)	NPO法人那覇市街角ガイド	
株式会社ジュネ	株式会社おきぎん経済研究所	日琉リネンサプライ株式会社	
福山商事株式会社	株式会社DUO	コーユーレンタリース株式会社 沖縄営業所	
有限会社比嘉酒造	株式会社エス・ピー・ネットワーク沖縄営業所	株式会社IGLOOO	
瑞泉酒造株式会社	株式会社りゅうぎん総合研究所	SYLジャパン株式会社	
株式会社ジムキ文明堂	公益財団法人日本交通公社(JTBF)	株式会社ゆがふホールディングス	
沖縄コカ・コーラボトリング株式会社	オフィスKIBOU株式会社	沖縄体験ニライカナイ	
コジマ×ビックカメラ那覇店	ノイズ・パリュース	沖縄アリーナ株式会社	
株式会社エス・ティ商事		株式会社イノアック琉球	
(株)サガミトレーディングオキナワ		株式会社東洋設備	
ecowana		有限会社朝日興業企画	
シャチハタ株式会社		株式会社INFORICH	
株式会社トーホー沖縄		株式会社オーパス	
		New Quest株式会社	
		那覇NICE救急クリニック	
	◇企業・その他(会員様数:49)	株式会社ウイルテック	
	あいあいケーティング沖縄(株)アメニティ	株式会社テレビ朝日サービス	
	株式会社アイレント	株式会社Onwords	
	IMAGE 株式会社アルファスリー	花王プロフェッショナル・サービス株式会社	
	沖縄ガス株式会社	ライフジュニア日本語学院	
	沖縄セルラー 電話株式会社	リトルユニバース	
	富士フイルムBI沖縄株式会社	株式会社沖縄伊藤園	
	沖縄総合警備保障株式会社	沖縄スペース株式会社	
	沖縄綿久寝具株式会社	DMOなんじょう(株)	
	株式会社DMC沖縄		
	株式会社桃原農園		
	那覇空港ビルディング株式会社		
	株式会社日進商会(MAJUN OKINAWA)		

OCVB 贊助會員募集中！

OCVBは、「沖縄観光のプロフェッショナルとして県経済発展の推進役を担い、観光を通じた県民の幸せづくりに貢献する」ことを基本理念としています。

●会員サービス

迅速な情報提供

- ①OCVBからの迅速な情報発信、相互情報発信を目的とした「賛助会員交流掲示板」への参加
②月1回発刊「OCVB News」早期配信

PRする場のご提供

- ①OCVBサイト（当サイト）の「賛助会員情報」内における企業情報掲載
②OCVB交流サロンならびに東京事務所パンフレットラックの利用（無料）

各種イベントのご案内

- ①OCVB事業説明会・交流会
- ②OCVB新春の集い
- ③各種講演会、セミナーの開催

●年会費

基本会費：1口 50,000円

お問い合わせ先：OCVB 賛助会員事務局

TEL : 098-859-6124 詳しくは、<http://www.ocvb.or.jp/organization/member>



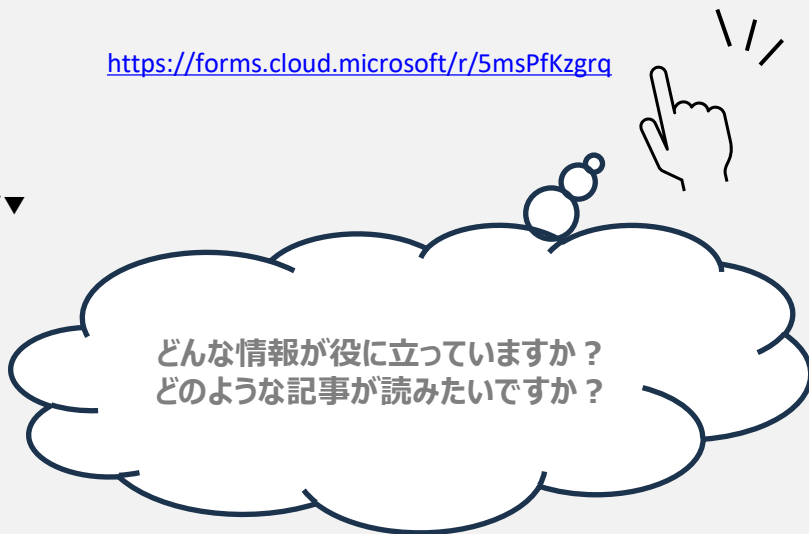
読者アンケート調査

最後までお読みいただき、ありがとうございます。OCVBではこれからも事業者の皆さまの役に立つ情報を発信し続けてまいります。ぜひ、皆さまのお声をお聞かせくださいませ。

＼より良いOCVB newsを作っていくため、読者アンケートにご協力をお願いいたします。／

<https://forms.cloud.microsoft/r/5msPfKzgrq>

▼こちらのQRコードからも回答いただけます▼



【読者アンケート調査】

※ご注意ください※本フォームへのご質問には回答できかねます。